



消えたる目

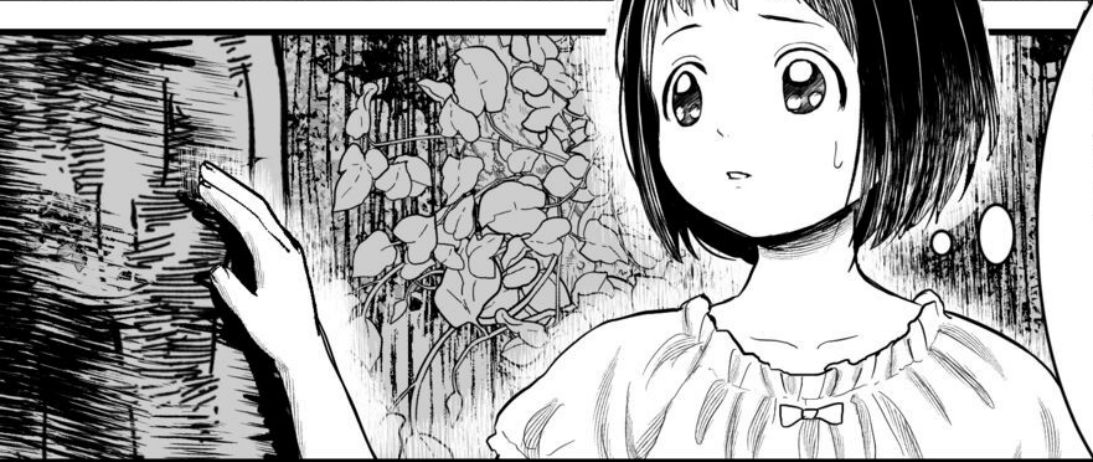
まじるさるんが

蛭巻



おかしいな…

寝ぼけて裏山に
来ちゃった
のかな？



へら～

あの一

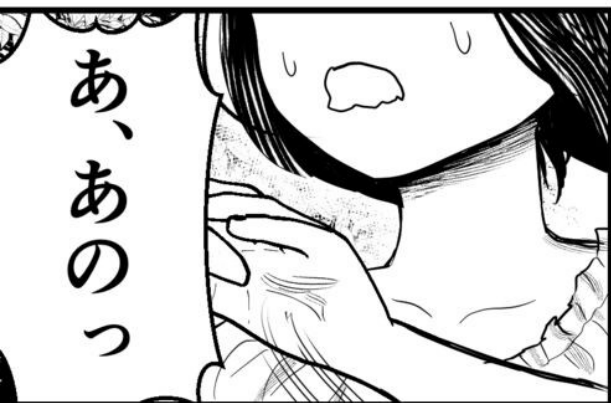


それから…

昨日は確か
こゆきちゃんと
川遊びして、
それから
家に帰って…







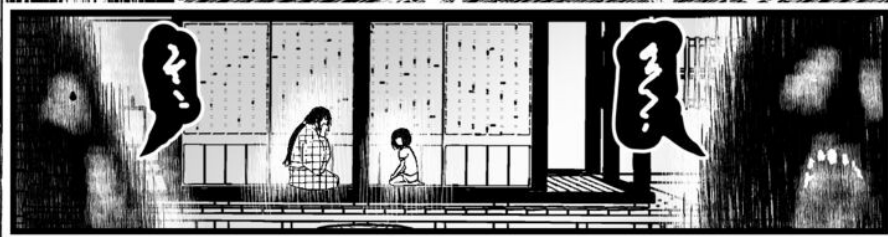
助けて!

あそこに変なのがる!

ぎゃん

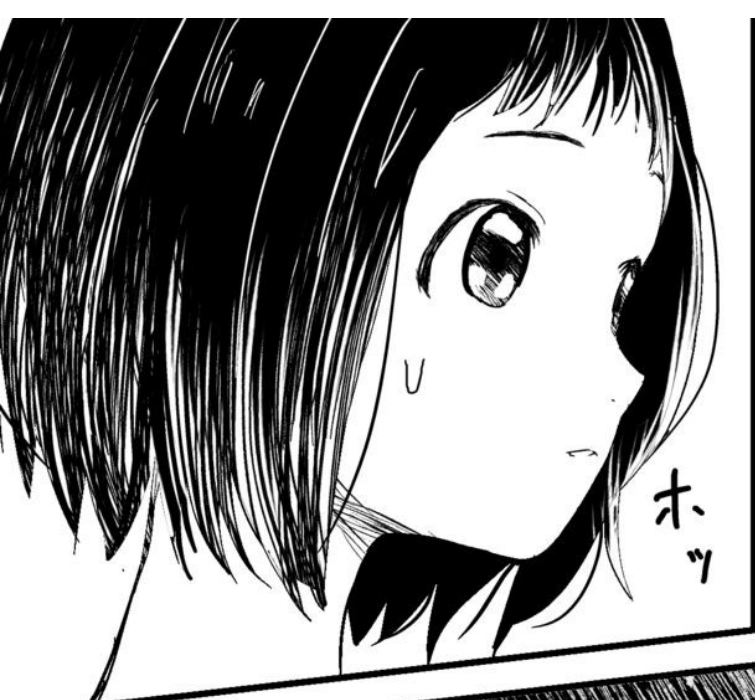


来い、
ここは危険だ



どうか祈って
やっつけてくれ

哀れだろう？あれを
見てると胸が痛む



ホッ



この家の周辺なら、
あいつらは入っては
こない。いくらでも
休んでいくといいさ



しかし、人間か：
何十年、いや何百年
ぶりか…

あの…

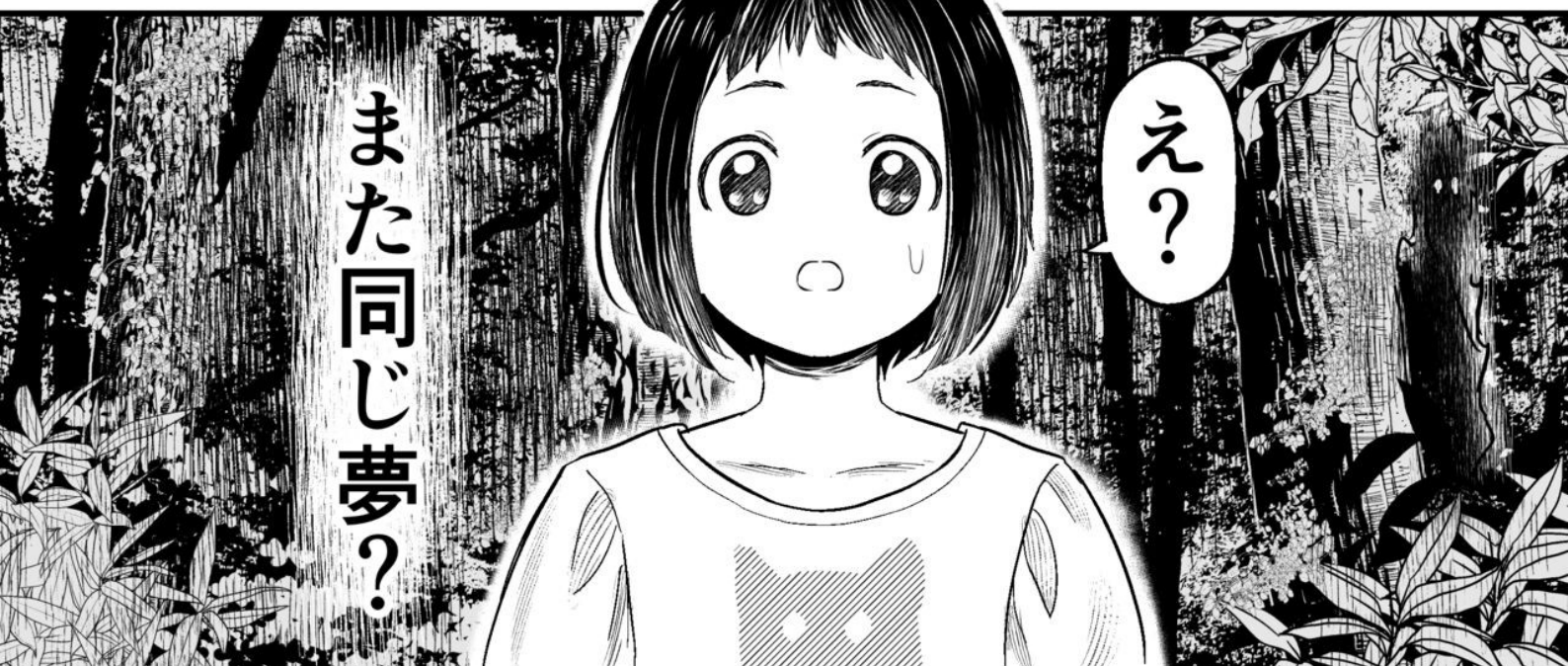
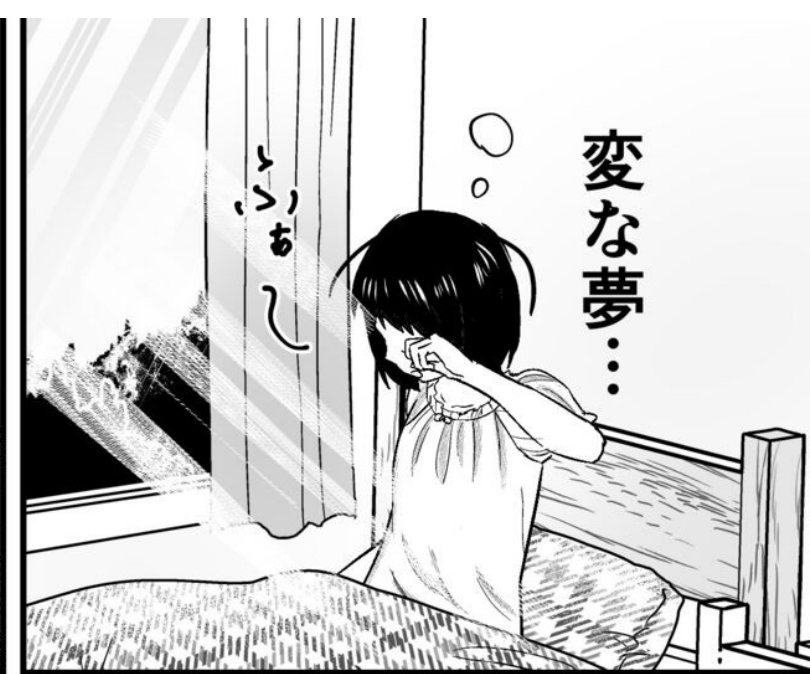
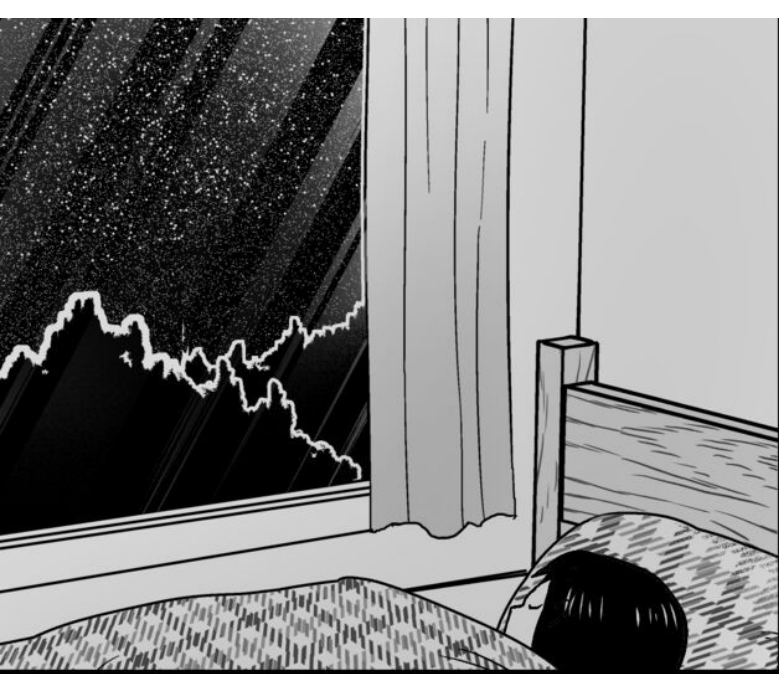


なら、外の話を
聞かせてくれ



私に出来ることは
ありますか？

^^...



また同じ夢?

え?



さて、今日はどんな話を聞かせて貰おうか

おかえり



ずうっと昔から

神様はいつから
ここに居るの？



そんなところだ

お兄さんは神様？



俺がお前の夢に
現れるんじゃない。

じゃあ、神様は
なんで私の夢に
現れるの？



お前が勝手に
ここに迷い込んで
来てるんだ

たまに居るんだ。
こちら側を覗く目に
恵まれた奴が

お前、運がいいな

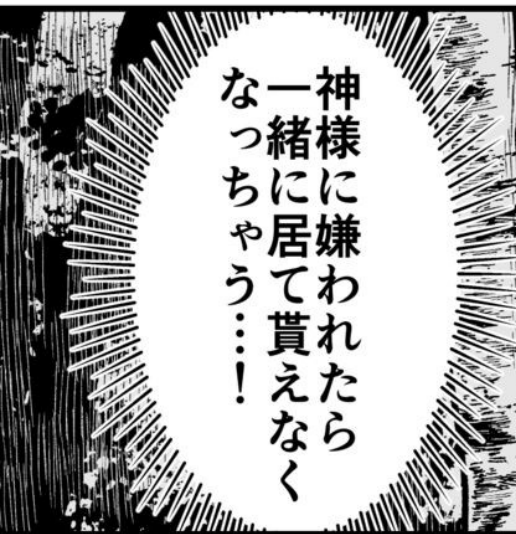


怖いだろ？



それ…

ちよつと
かつこいいかもつ



神様に嫌われたら
一緒に居て貰えなく
なっちゃう…！



こ、怖いよ？
でも今は
神様が居る
から平気




やったね！！

へへ、ありがとう


くく、神に対する
振る舞いがわかってる
じゃないか。
お前は偉いなあ



今日は神様に
拾ったヤマモモを
あげました。




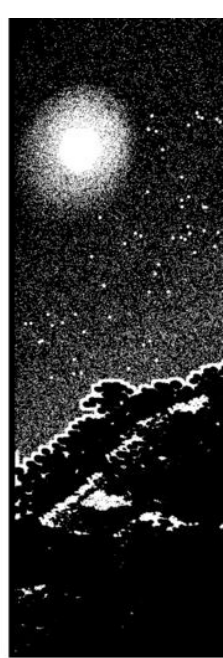
今日は神様が
人形劇を見せて
くれました。



今日はお盆が近いので
いつもより念入りに
祈っておきました。

ズズズ...





あの、もう大丈夫



もう治った



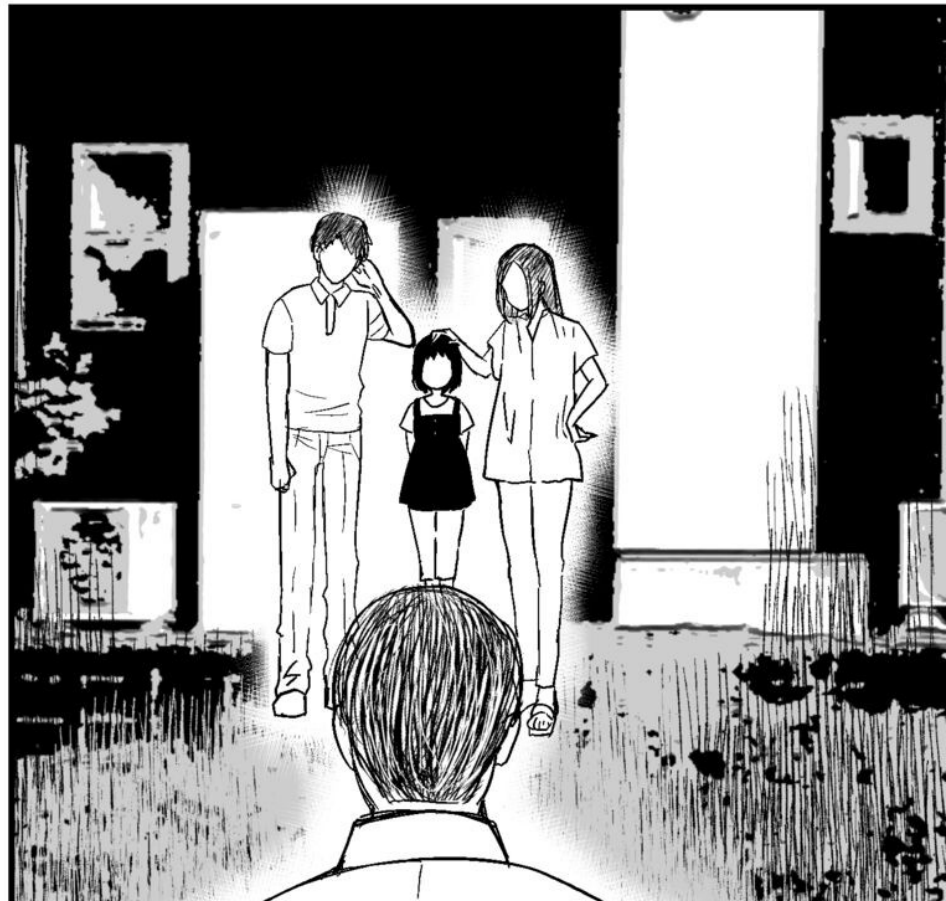
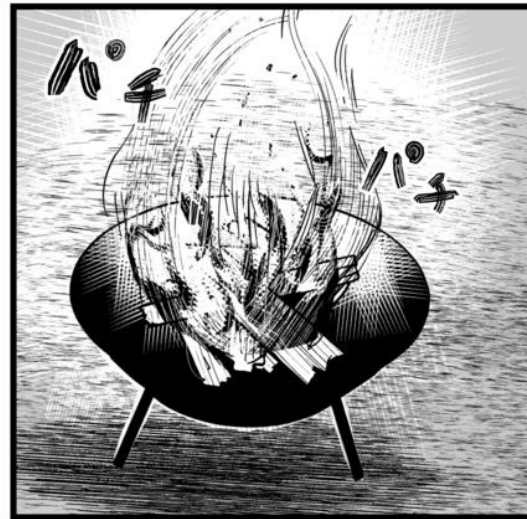
なに、信者には
それなりの施しを
与えてやるさ

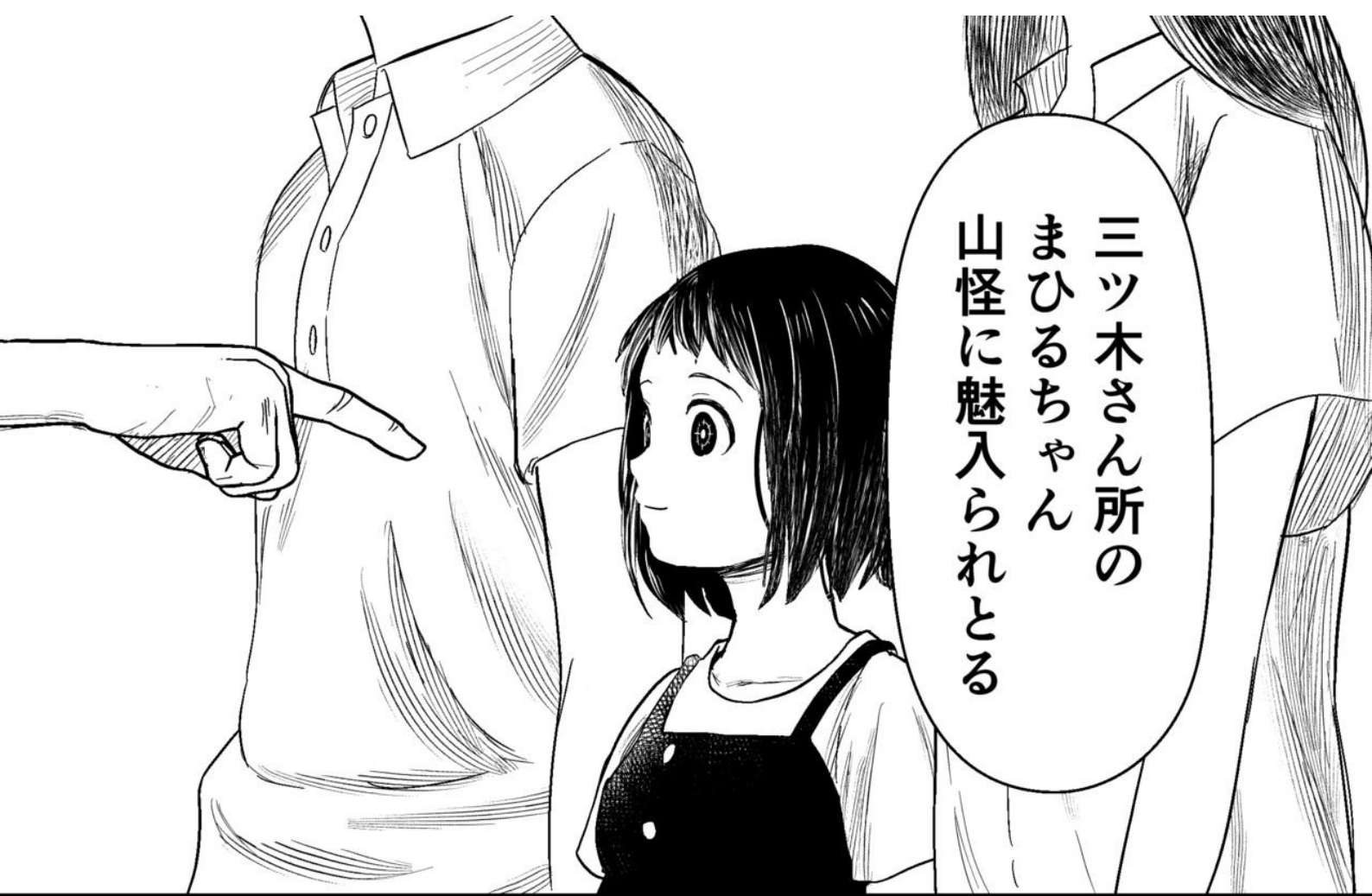
信者にされちゃった…



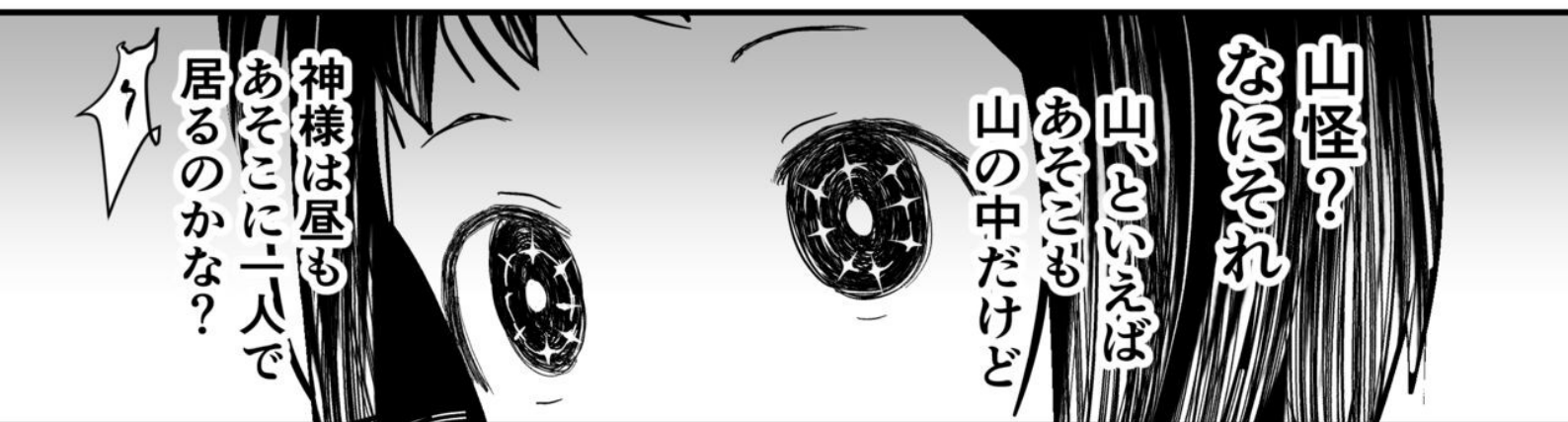
ふんっ







三ツ木さん所の
まひるちゃん
山怪に魅入られとる



神様は昼も
あそこに二人で
居るのかな？

あそこも
山の中だけど

山といえは

山怪？
なにそれ



夜くらい一緒に
居てあげたいな

神様って

なに？

これからは
何されても

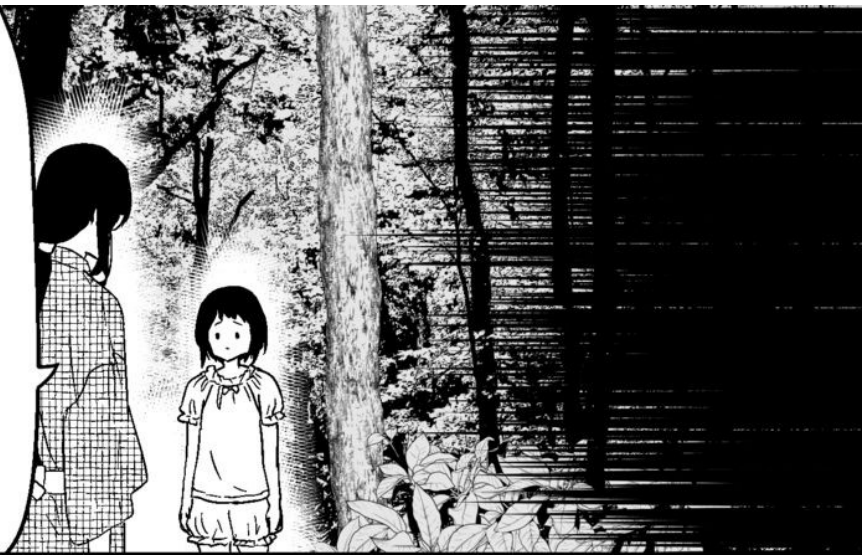
夢の中では絶対
声を出さない
ようにしなさい

ファッ!?



う...
やっぱり
ちよつと
悪いような...
まき ゆ...

なあ、今日は俺から
頼みたいことがあるんだが...



まひる？

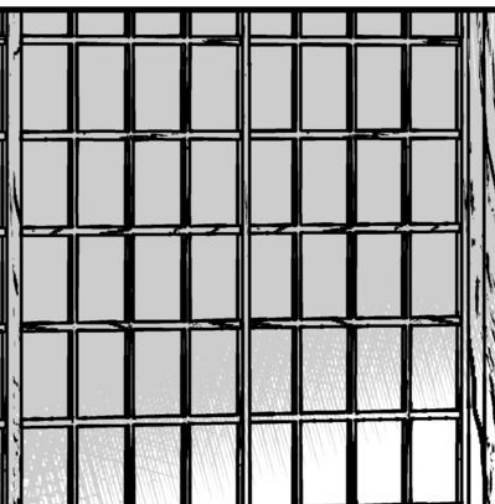
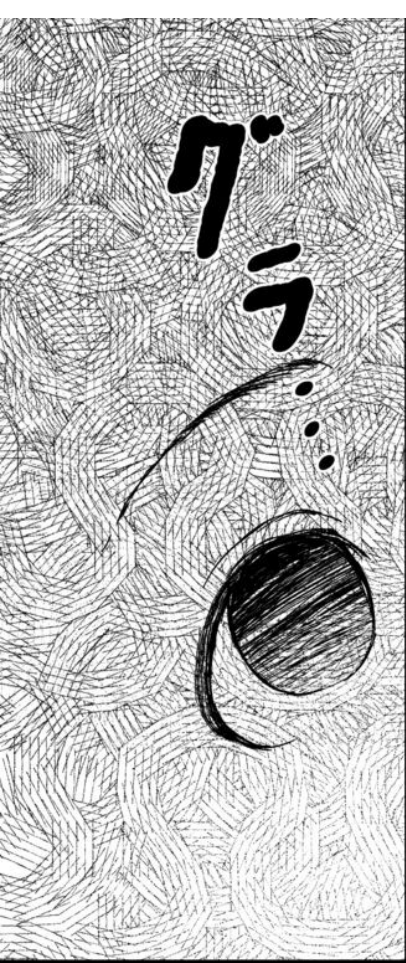


あれ？私名前
教えてたっけ？

なで なで

今日は機嫌が
悪いのか？
なあ、また話を
聞かせてくれよ







起きたか



そんな時、
お前が
来てくれた

俺はこの山に
封じられて
長い時を
過ごしてきた



俺にとって
お前は都合が
良かった



もう分かって
いるとは思うが、

ここでの時間は
常世と同じだ

選べ。

ここで全身の
血を吸い尽く
されて死ぬか

俺に少しばかりの
体液を啜られるのか

ズル

ズル

ズル

ズル

ズル



勿論体液を吸られる方がましだよな？

死にたくはないだろう？

びりびり
びりびり
びりびり

外を彷徨ってる
亡霊は昔、俺を封印した
奴の成れの果てだ

今では劣化しあんな姿を
しているが、俺に対する
封印の機能自体は
据え置きときたもんだ

これでは腹拵えが
碌にできない。

死にたくないのは
俺も同じだ

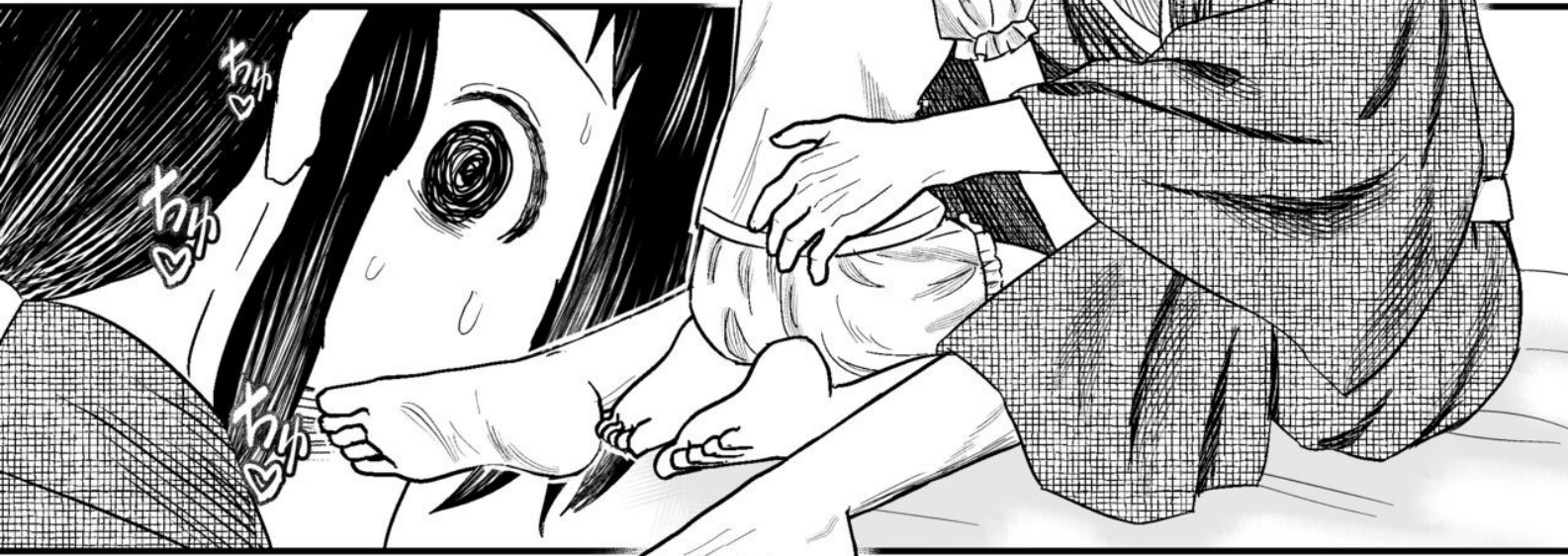
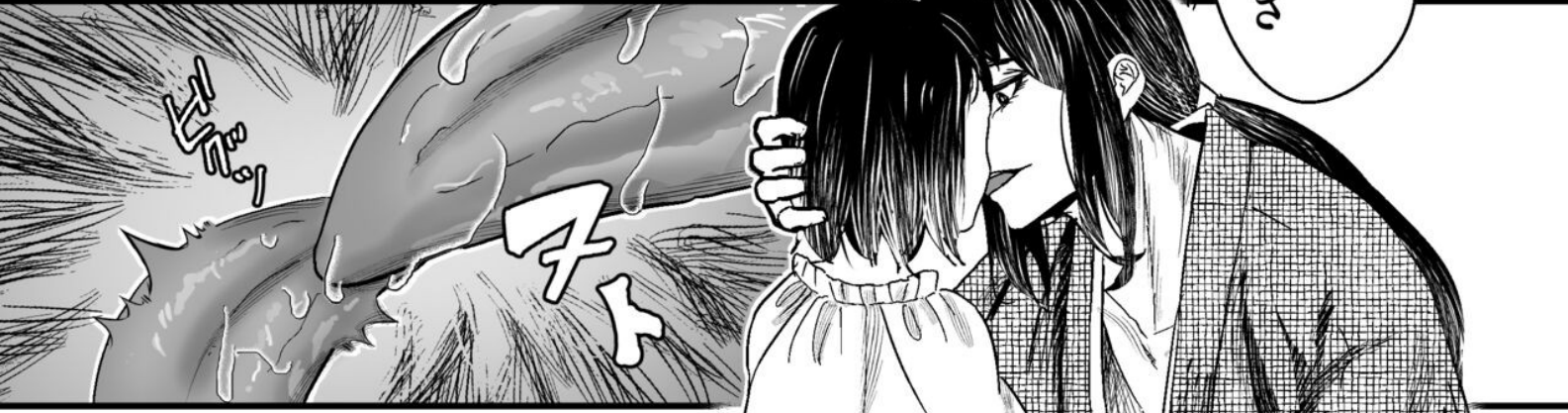
その為には
生きた人間の
体液が必要なんだ

特に、お前みたいに
こちら側と近い
人間のな

そう怯えるな

ある程度力が戻ったらすぐ解放してやるさ

ズリ...
ズリ...



本当は血がいいんだが…
まさかこの俺が
こんな事をするとはな

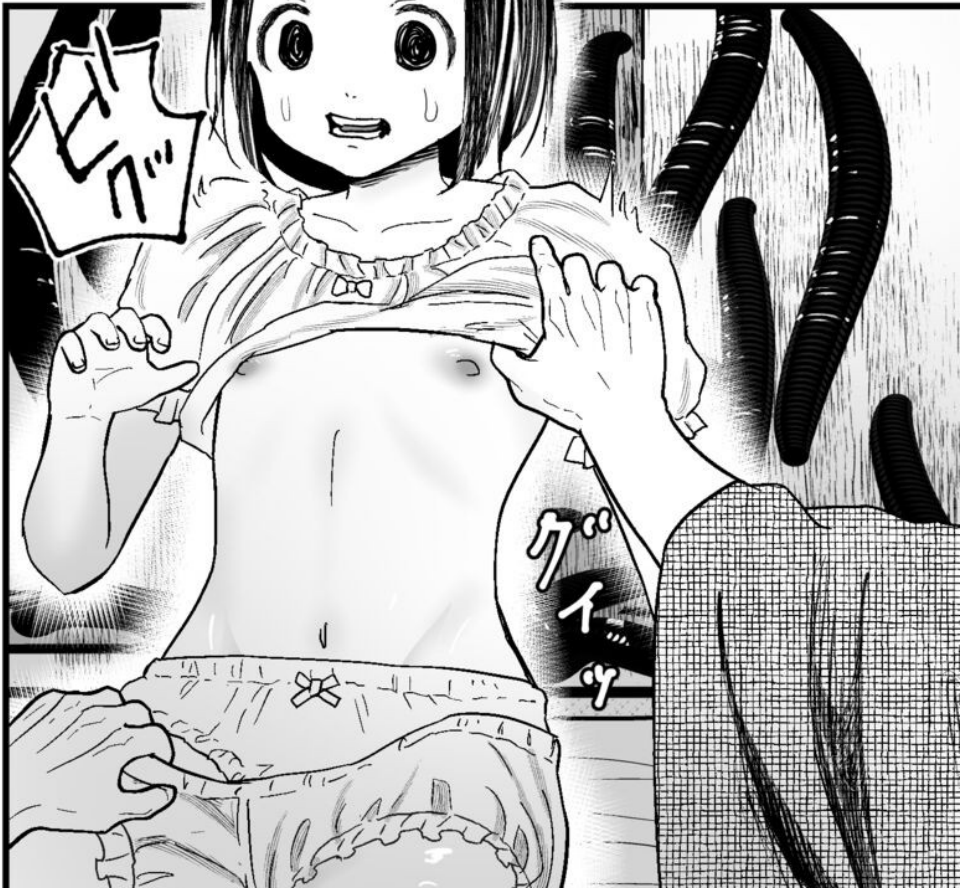
はー！……♡

ヌチヤ♡

スルッ



ヌチヤ♡
スルッ



グアイッ



くく、分かってはいたが
薄い胸だな

スリ

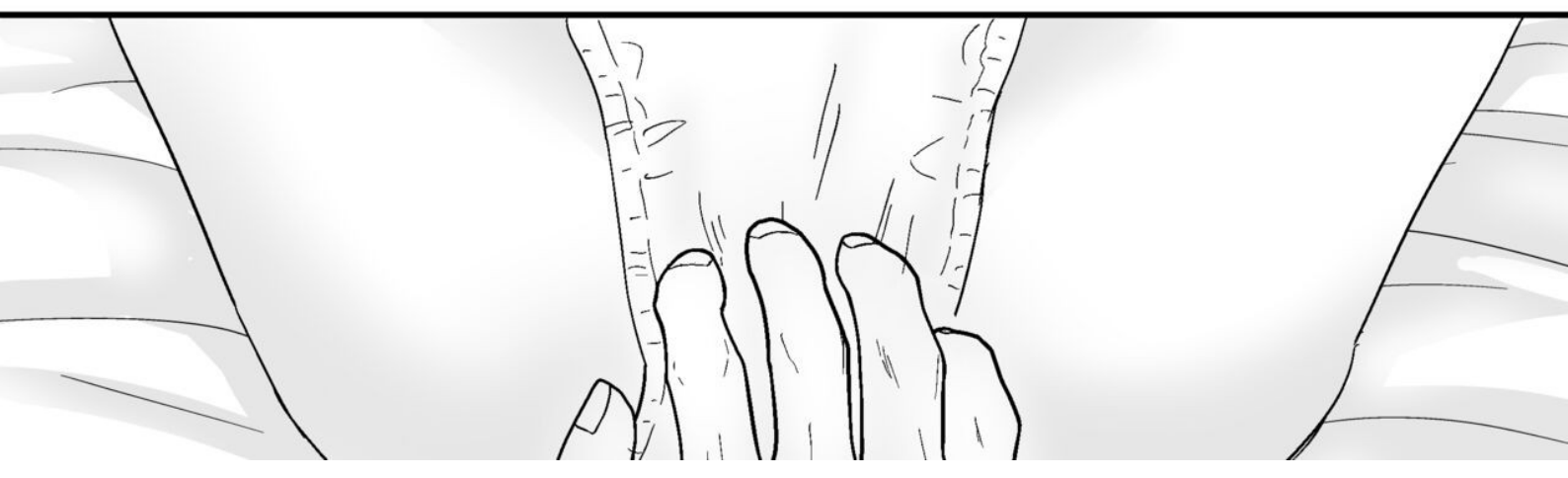
スリ...

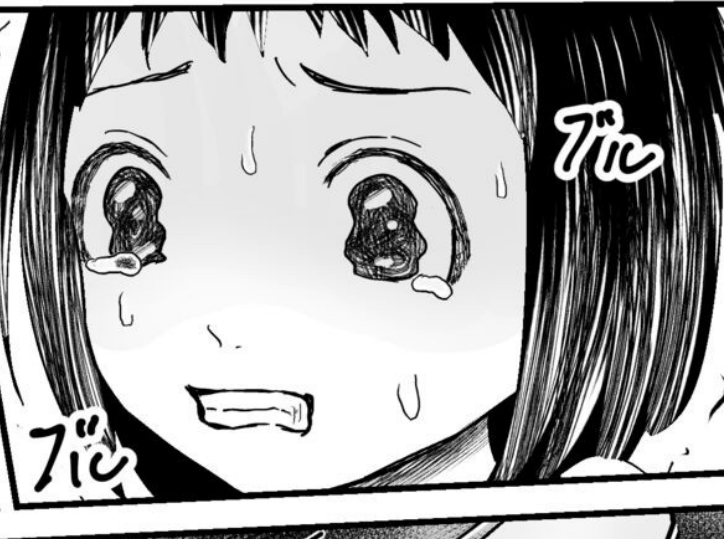
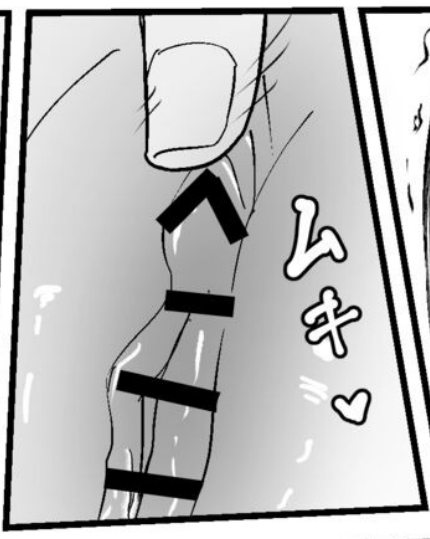
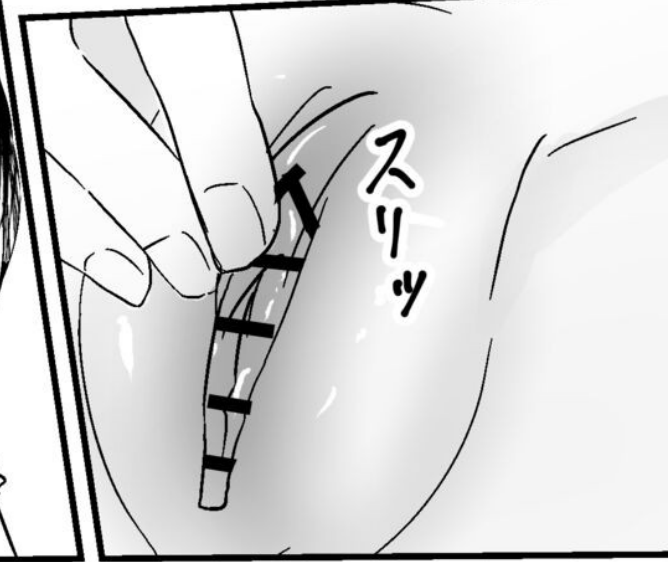
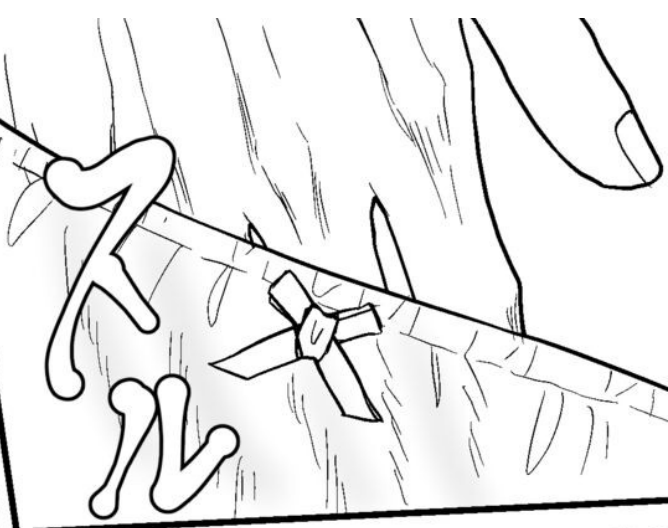


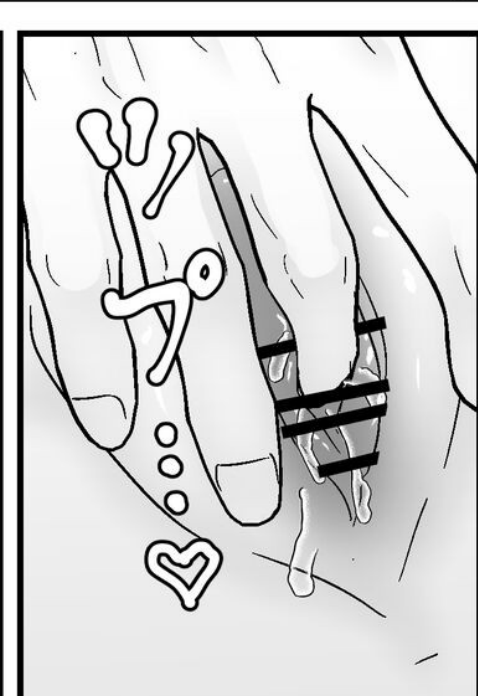
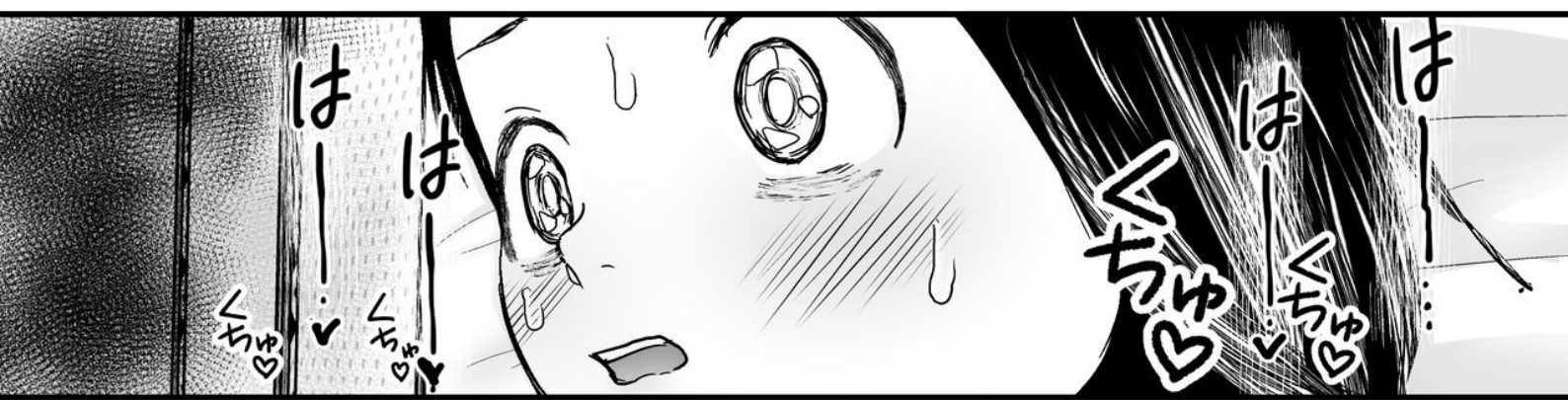
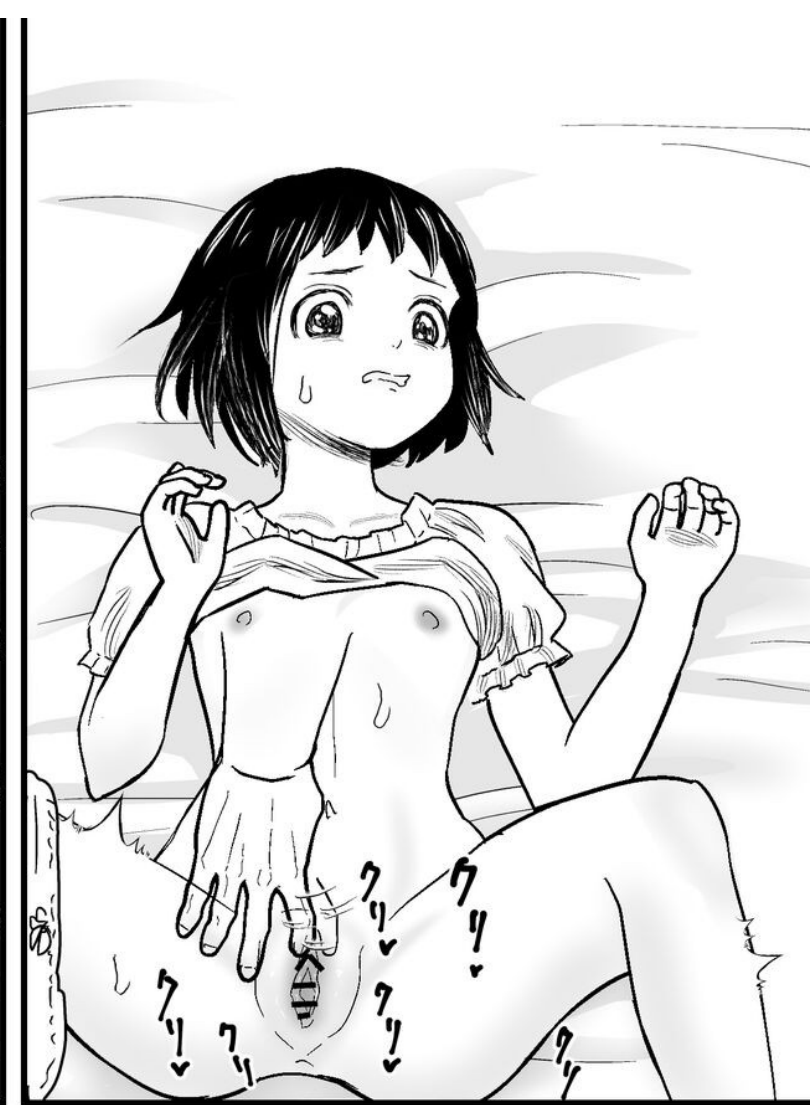
体液と言ったら
やはりここからも
欲しい。

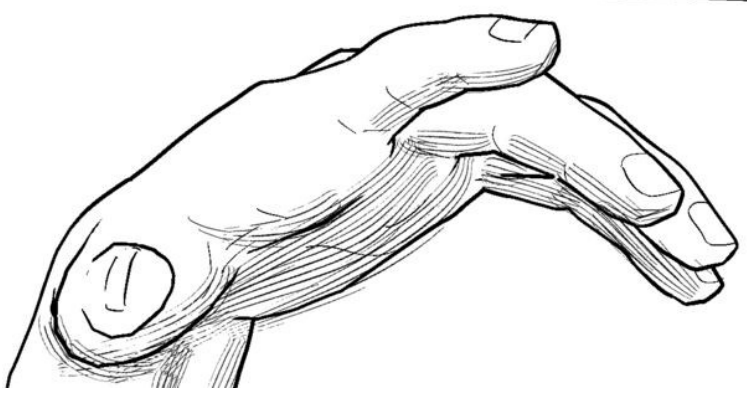
少々酷だが：
少しの我慢だ。

グイ











お前は何も
悪くない

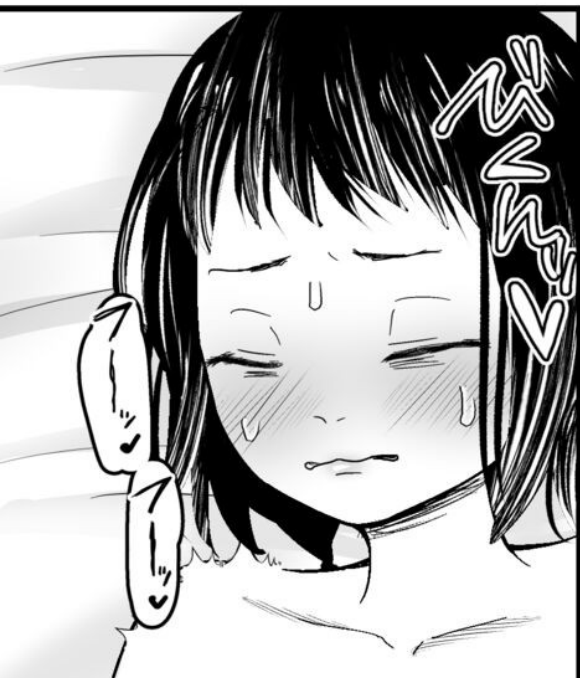
十デッ
十デッ

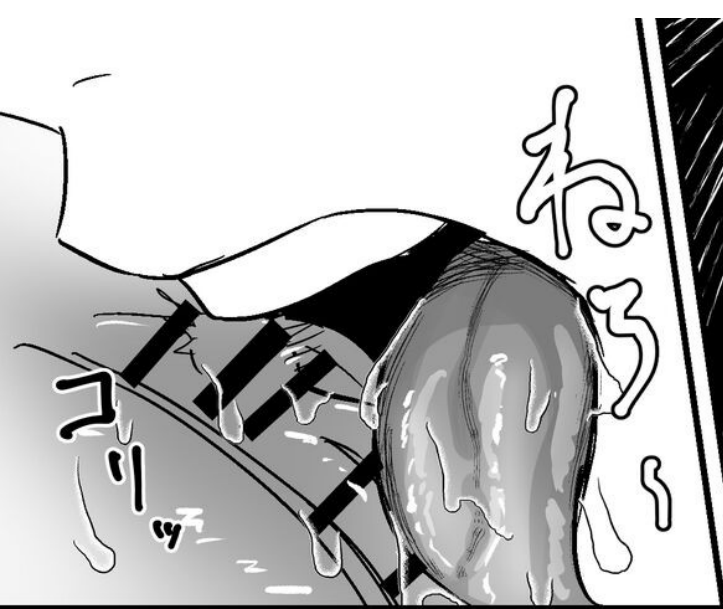


ただ、運が
悪かったただけだ

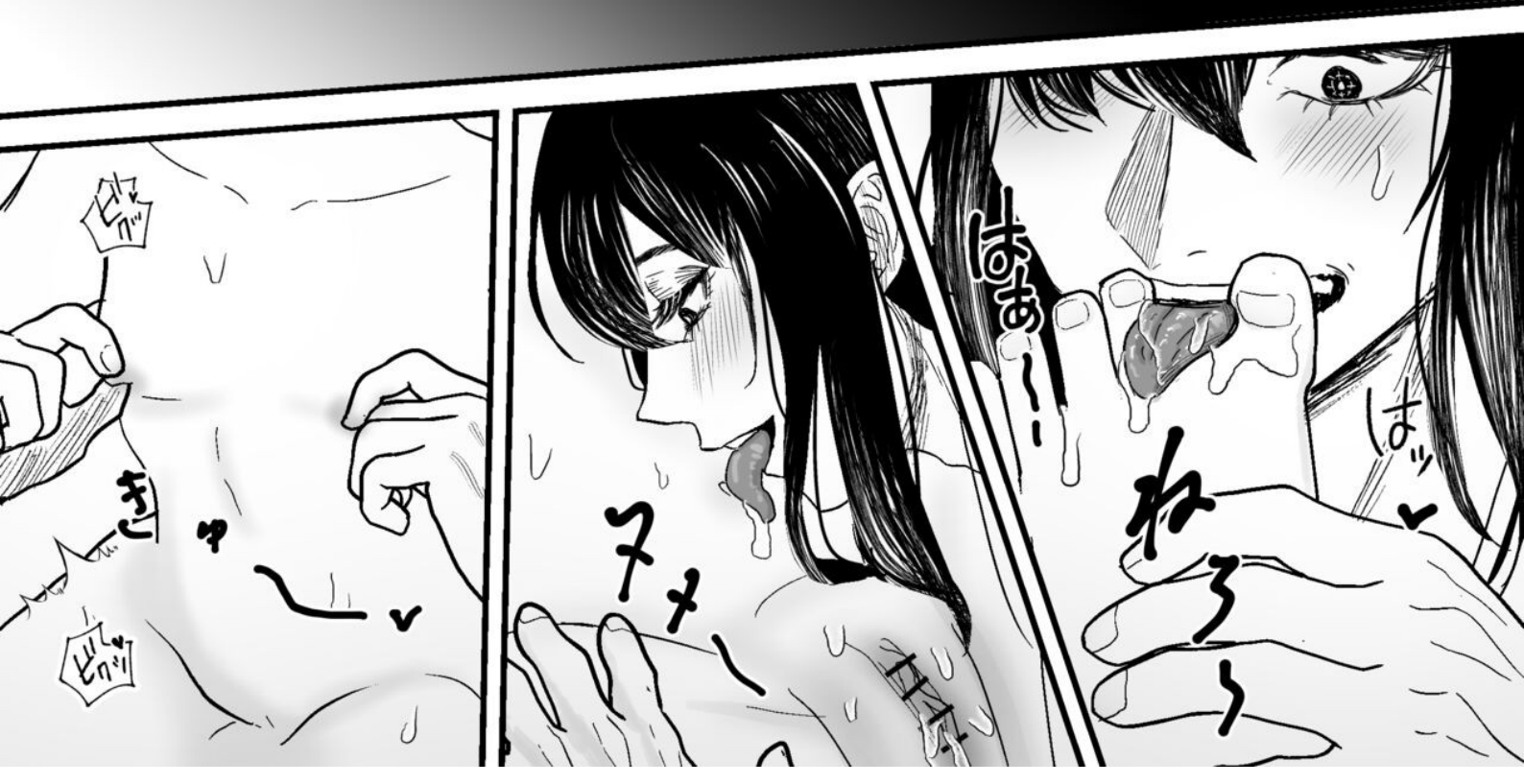
これからもっと弄って
やるから沢山濡らすんだぞ

わっお...











また気を
やったのか？

まひるは悪い
癖に本当に
はしたないな

こんなに
濡らして...



粘っこくて
今日のは特に
美味しいな



ぬ...ぬ...ぬ...



お前は何かもかも甘い。
全部吸い付くしたく
なってる

少し血が出ているな



うそつき……!
じわ



今のはそういう
意味じゃない。

よし
よし

グズツ

ふー



まひる、明日はもっと
いい事をしような



パサッ

スルッ

今日はここを
慰めてくれ。

お前はいい子だ…
できるよな？

やり方は教えてやる

はー

はー

はー

スルッ

ヒクッ

ズシッ



ほら、少し擦るだけ
だから、簡単だろ？

グイッ



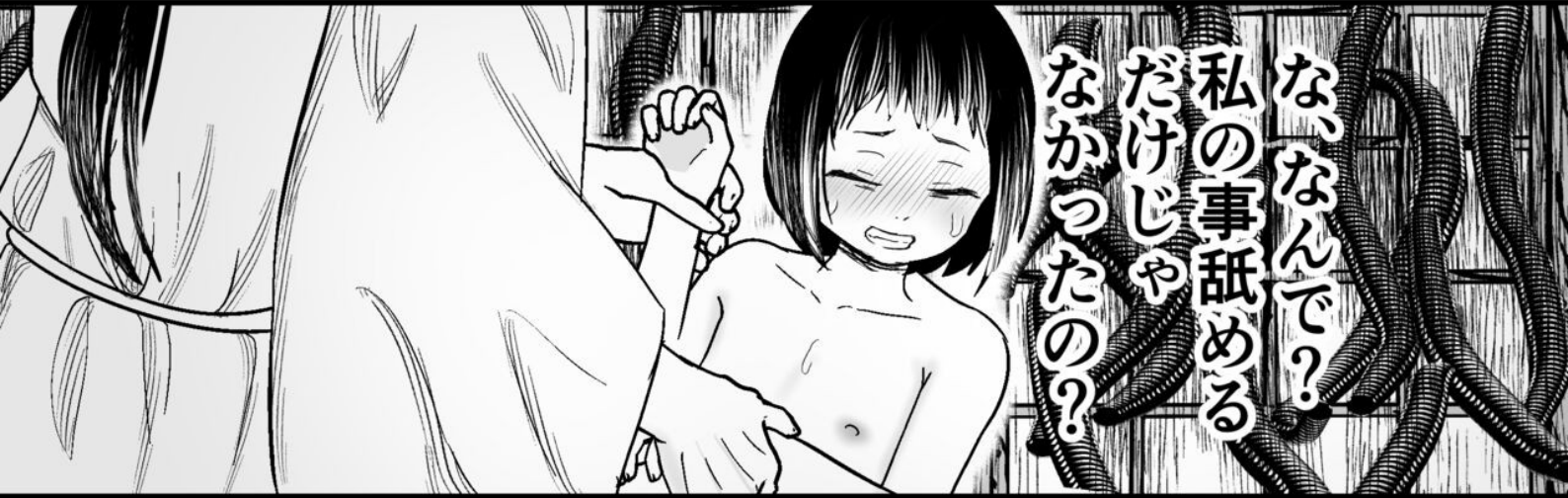
だってこれ……

いや

は……

ズンッ

は……



な、なんで？
私の事舐める
だけじゃ
なかつたの？



それとも、もっと
無茶苦茶に
されたいのか？



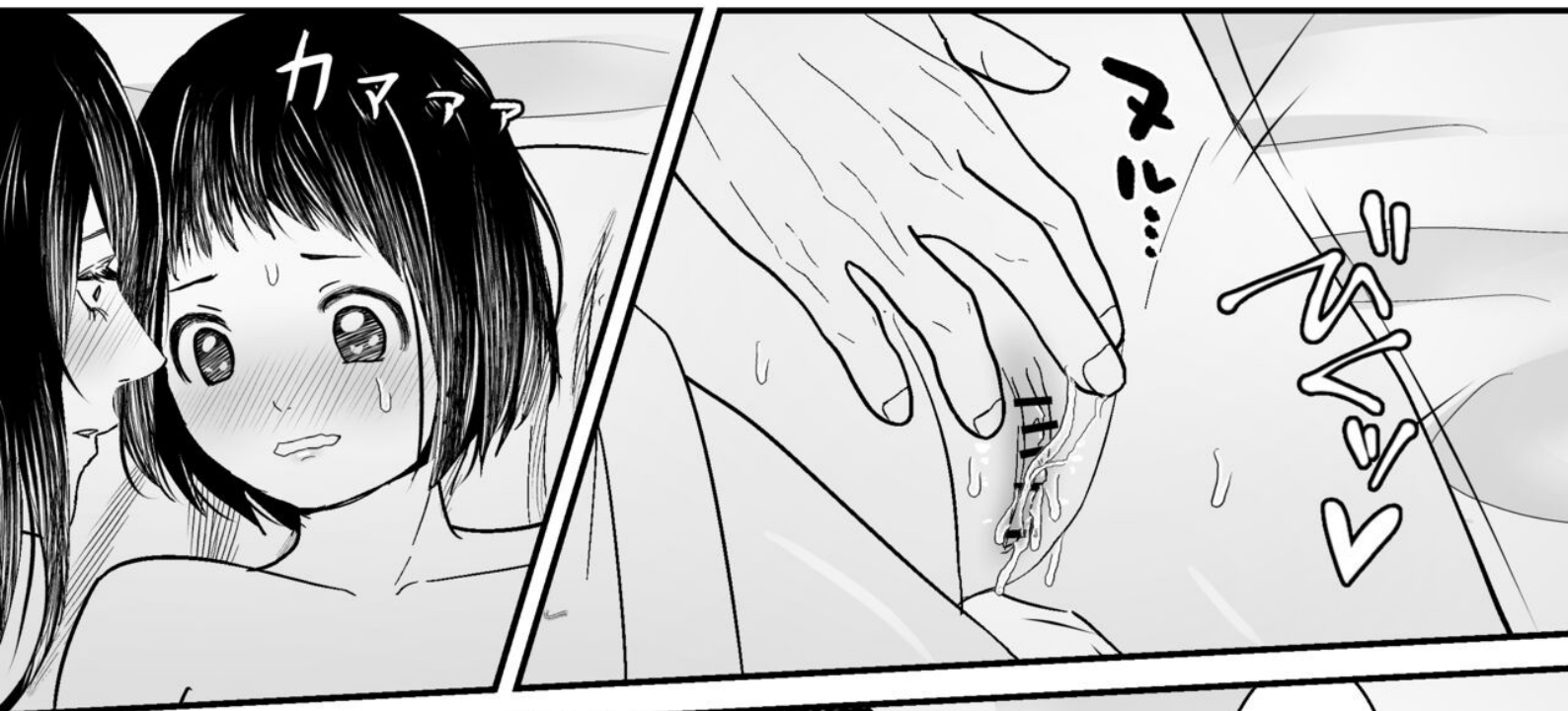
ここをよくして
くれたら今日はもう
終わらせてやる



顔は逸らすなよ

そうだ、
それでいい。
上手だ

は...!



カマァア

スリル...

カマァア



濡れてるぞ?

スリッ

お前、俺のを
擦って興奮
したのか?

まきゃ

いいぞ。もっと濡らせ
その分俺も早く力を
取り戻せるからな

これで股の間を
擦ってやる。
脚を閉じろ

ぐ
いっ
っ

そうだ、いい子だ

ぬちっ

ちゅっ♡

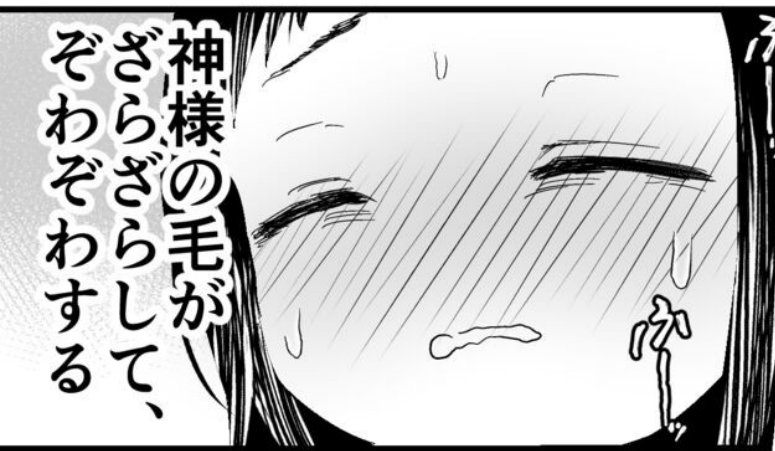
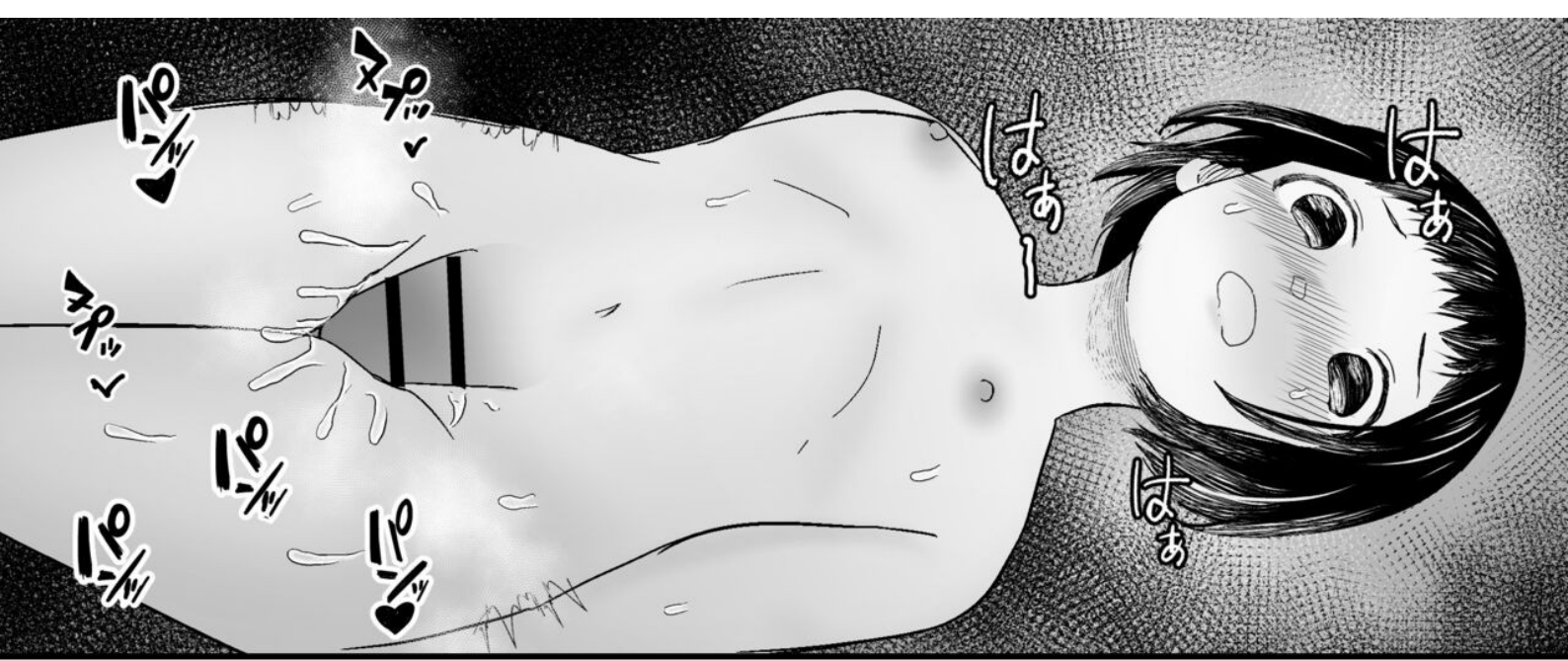
これ、最高だ
お前のが絡み
ついてきて…

ぬちっ♡
ぬちっ

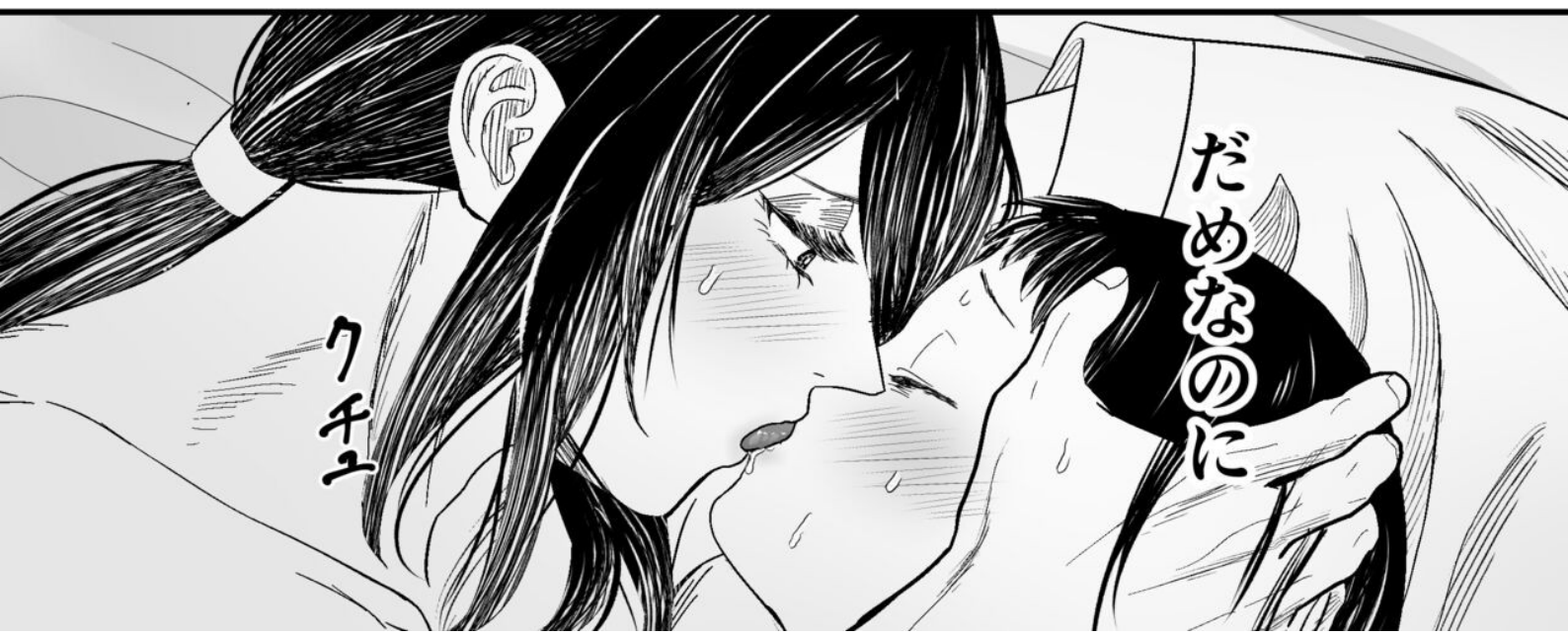
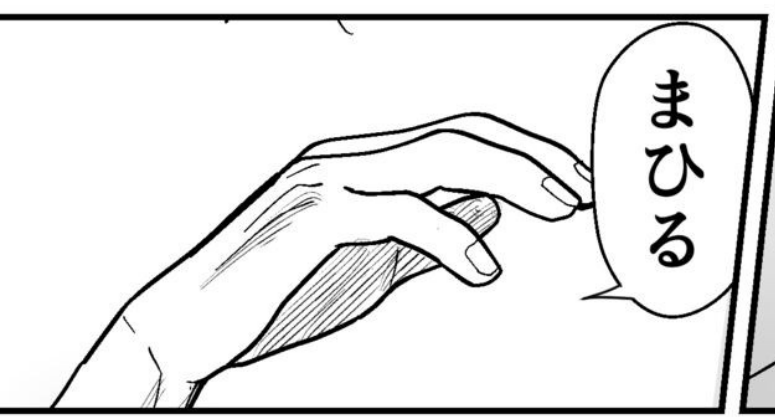
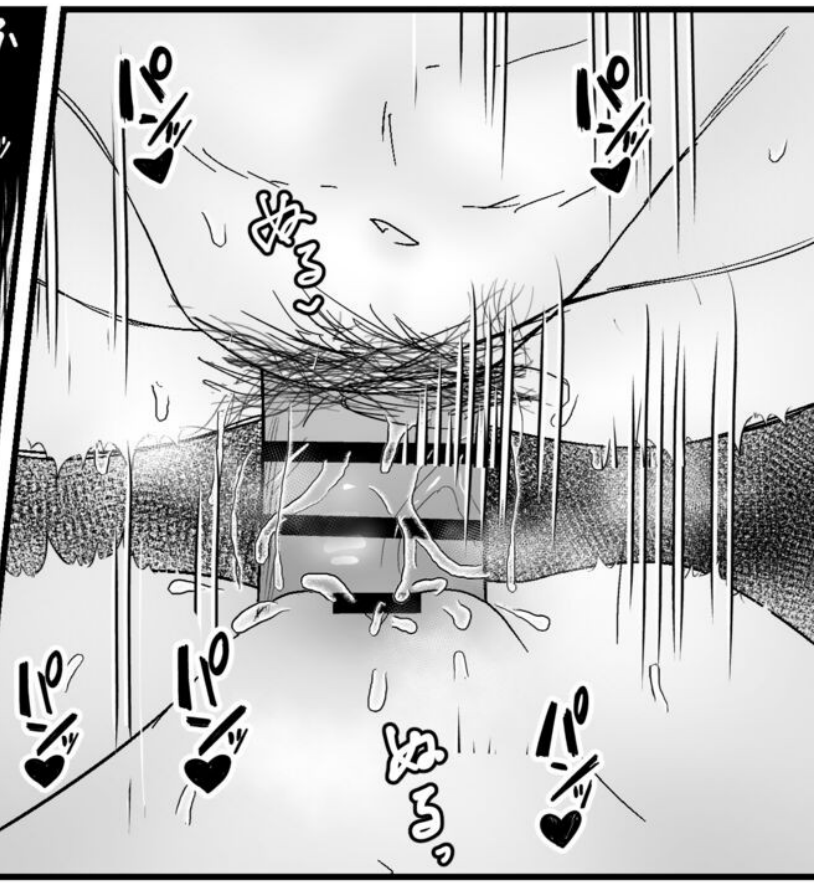
ぬちっ

ぬちっ♡

ぬちっ♡



神様の毛が
ざらざらして、
ぞわぞわする





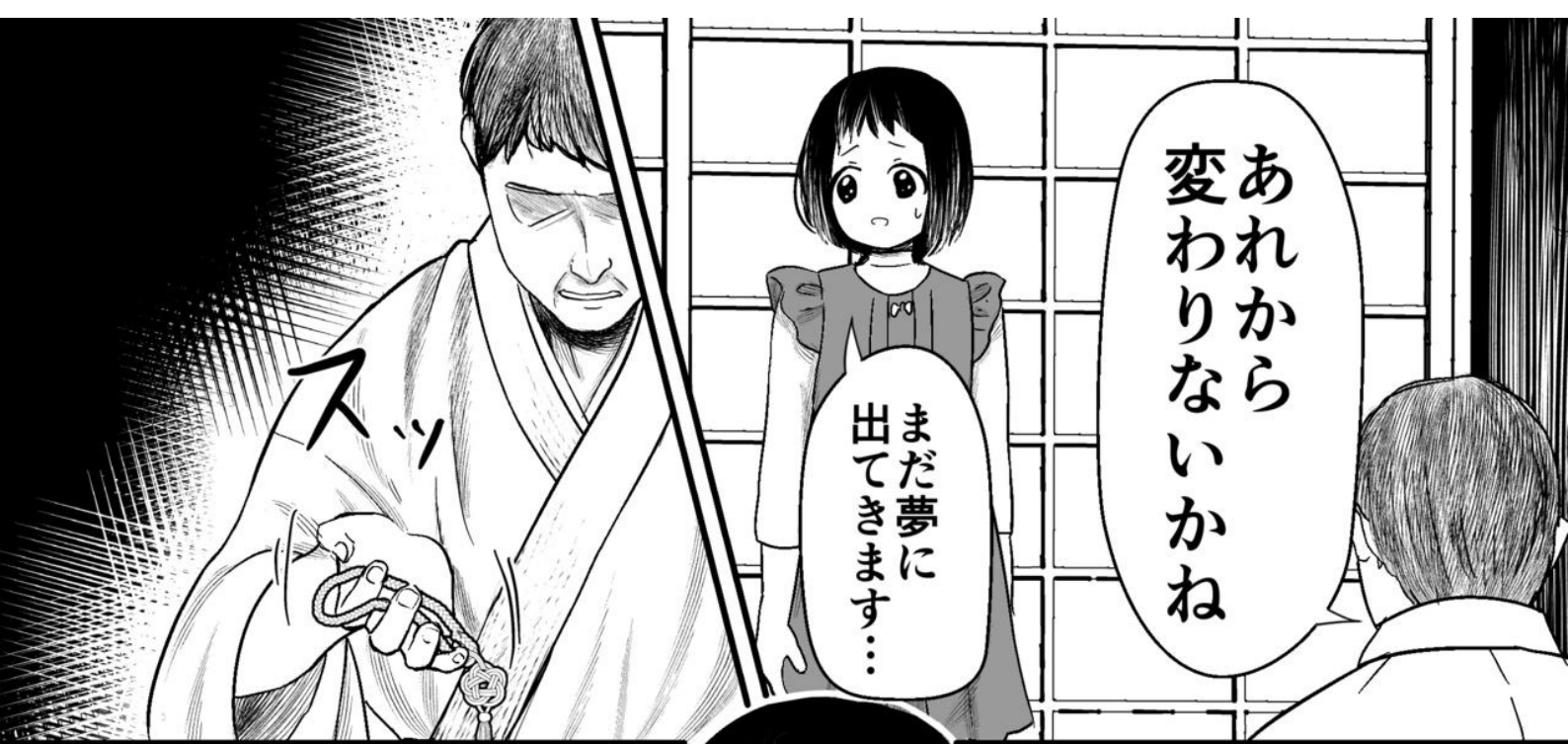
こんな夜を何度か
繰り返してらうちに



いつしか何をやるのにも
身が入らなくなり、
あそこが疼いて
仕方ありませんでした







どこに居る？

ガサツ

本当に、これで
良かったのかな…

まひるう…！

ヒョキ



姿は見えなくても
気配はありますか？

なあ、出てこいよ
まひる、近くに居る
んだろ？

+

おいおい、このまま
だんまりか？随分と
寂しいじゃないか

やっぱり
神様は怖い……！

俺に触られたのが
そんなに嫌だったのか？

あんなによがったた
癖に今更かまると
ぶるなよ

それとも、ずっと
こいつを出してたのが
嫌だったとか？

でもそうしないと
お前は俺から
逃げただろう？

七日後

わかった、こうしよう。
お前と口吸いだけ
させてくれれば、
それ以上の事はしない

お前と居る間は
この蛭も
しまっておく

そうしたら怖く
ないだろ？

それに、俺に力を貸してくれたら、
見た目だって変えられるぞ。
教えてくれよ。どんな姿がいい？

お前の好みの
男になってやるよ

ああ、それとも男
じゃなくて女の
姿がいいか？
お前が望むなら
そっちでもいいぞ

実はこの見た目は、
森を今彷徨ってる
奴らの中の一人を
参考にしたのさ。

…なあ、いい加減
出てこいよ

半年後

まひる、まだ機嫌が
悪いのか？頼むから
出てきてくれ

俺はお前を害する
つもりなんて
なかったんだ。

その証拠に痛い事
なんて一度も
しなかっただろう？

最初、お前が何かできる事が
ないかって、それが俺は
嬉しかったんだぜ

初めて
あんな風に
接して貰えた事が。
はは、おかしいだろ？

クク

だから無視
しないでくれ。

ヒク...

まひるが居ないと、
ここは地獄なんだ...

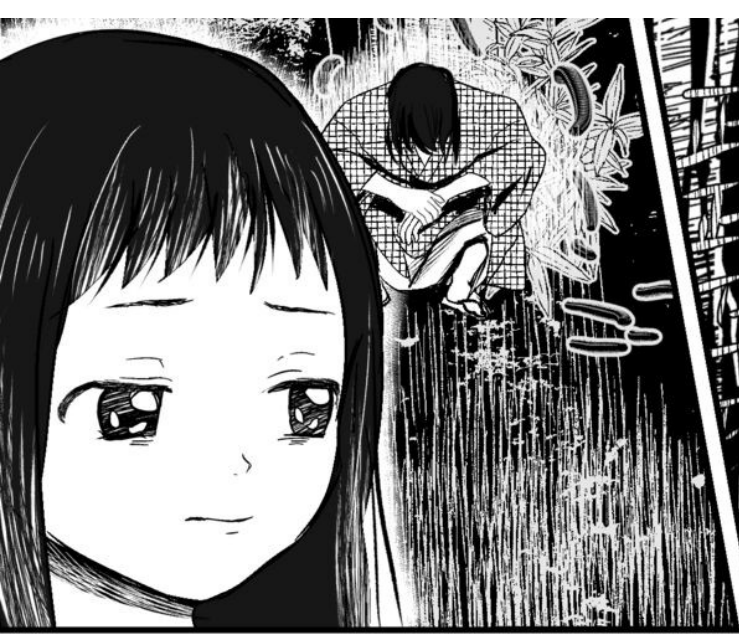
なあ、誰か邪魔な
人間は居ないか？
俺が食ってやるよ

それとも欲しい
物があるのか？

だったら、
なんだって
用意してやる。
後少しなんだ...

更に一年後





どうして、寂しいなら
寂しいって最初から
言ってくれなかつたの？





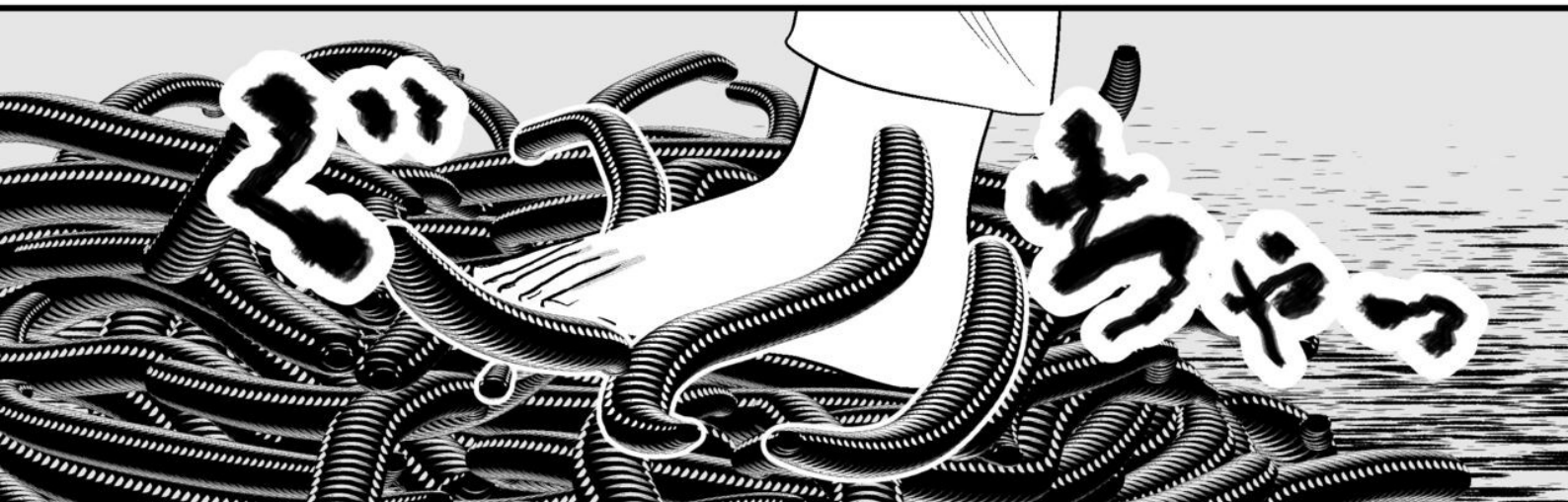
あれ、私の部屋？



：やっば
近くには居て
あげようかな



「森の外の亡霊は
俺を昔封印した
奴らの成れの果てさ」



ぞわぞわ

あやう



キエウウウウー

それに、前よりいい
匂いがするんだが…

~~初~~はもう
済ませたのか？

ずっと
会いたかった…

この場所に俺の
力の殆どを使った
甲斐があった…！

はぁ

ゼエ



髪、伸ばしたんだな。
まひるが増えて嬉しいぞ

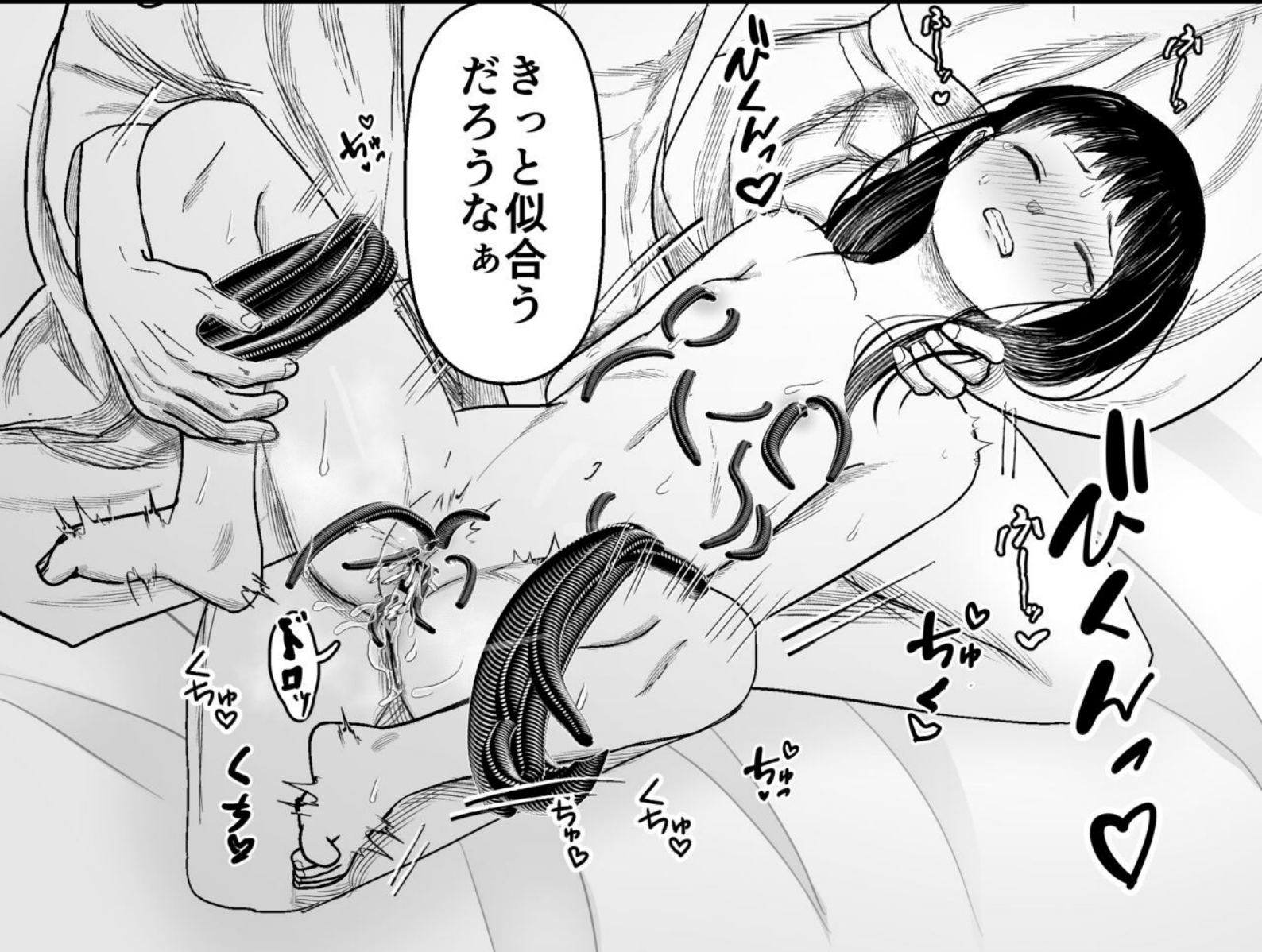


髪飾り付けてみるか？

なんでも好きなものを用意してやるからな

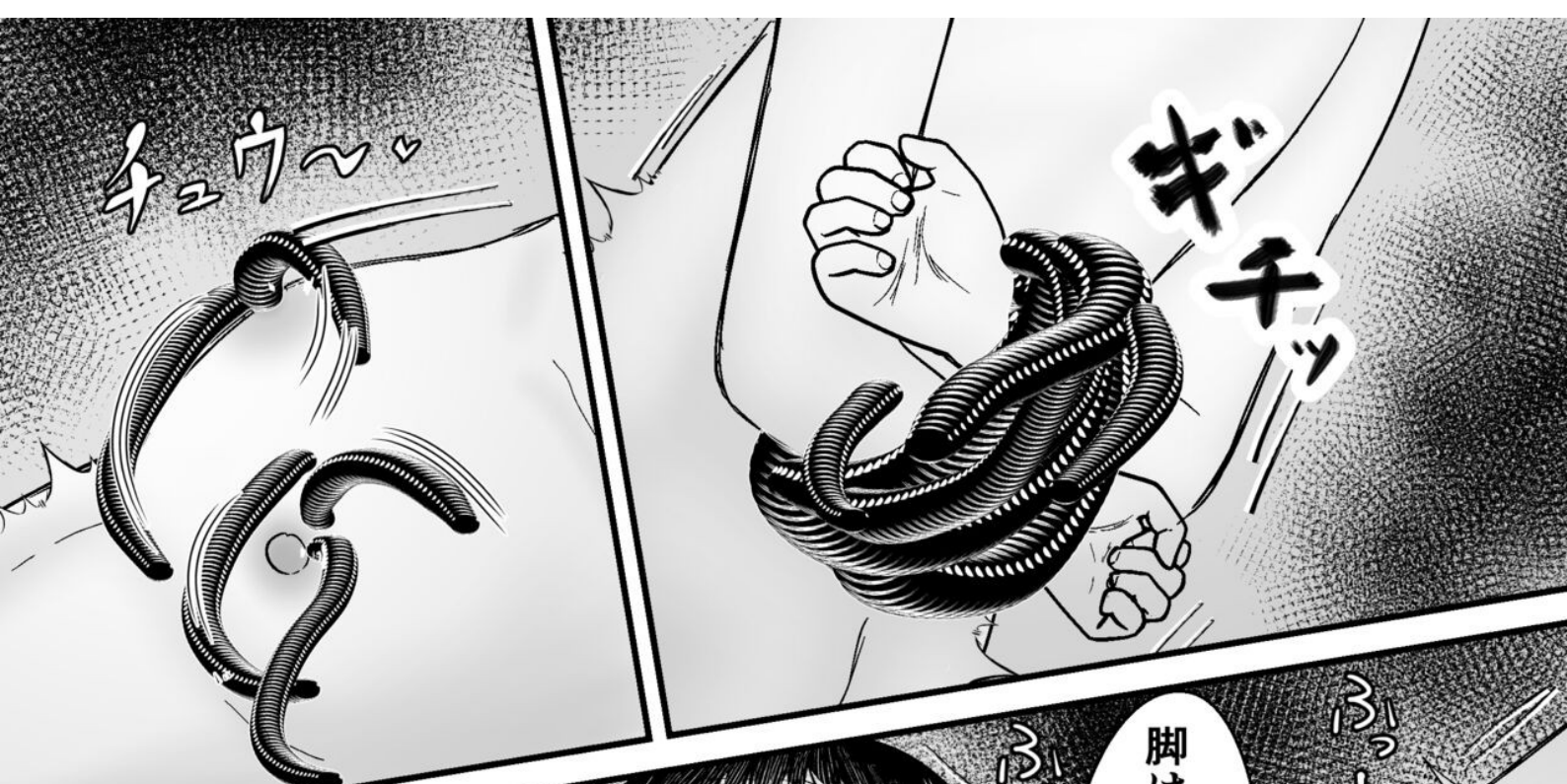


それとも、まずは
花無垢の方がいいか？



きつと似合う
だろうなあ

ハム



チュウ〜♡

ギ
キ
ツ



脚はそのままにしてろよ

こいつの数を
増やされたか
ないよなあ？



これ、いいだろ？

血を吸う以外にも
こんな使い方
できる



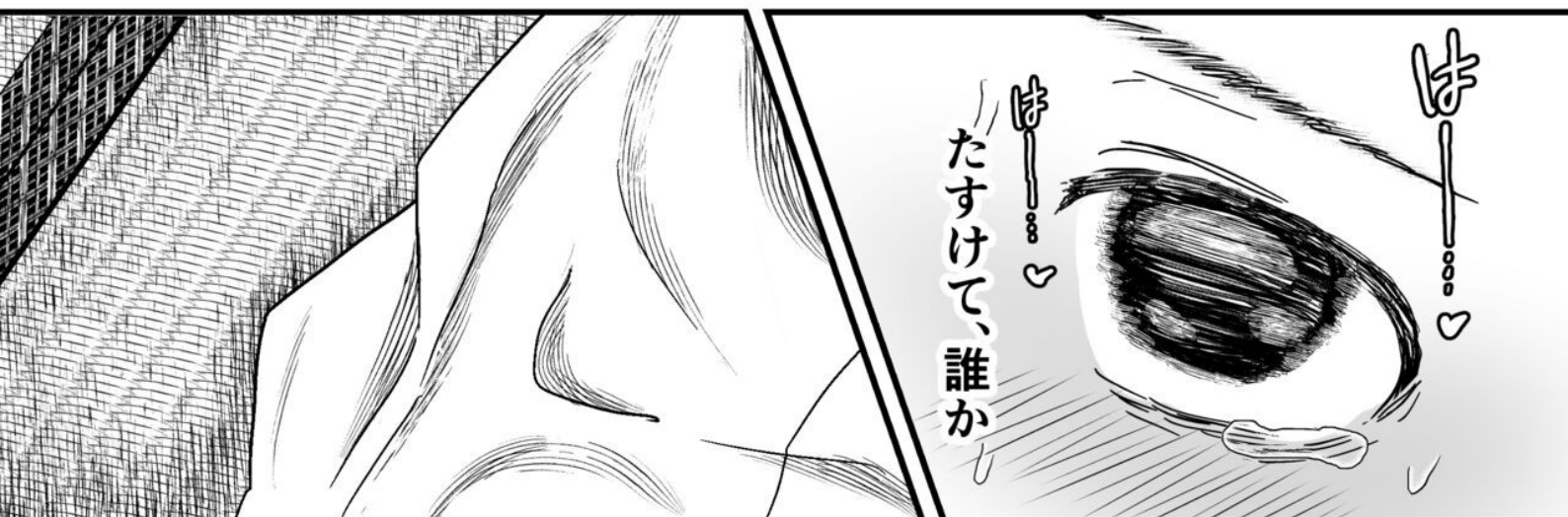
お前が居ない間は
乾いて仕方がなかったぞ

これからはたっぷり
愛でさせてくれ

びくっ

ツッ...♡

♡...♡



は...♡

は...♡
たすけて、誰か



俺はお前の事をこんなにも
必要としているのに
お前はそうじゃないのか？

めっちゃ♡



ぬちゅっ♡

ヌキヤン♡

ぬちゅっ♡



ぬちゅっ♡

くくっ…違うよな？
 こんなにぐちゃぐちゃに
 濡らして…後で全部
 吸ってやるかなあ

ぬちゅっ♡

ぬちゅっ♡

ぬちゅっ♡



は…

もっとうんちのこと…？

は…



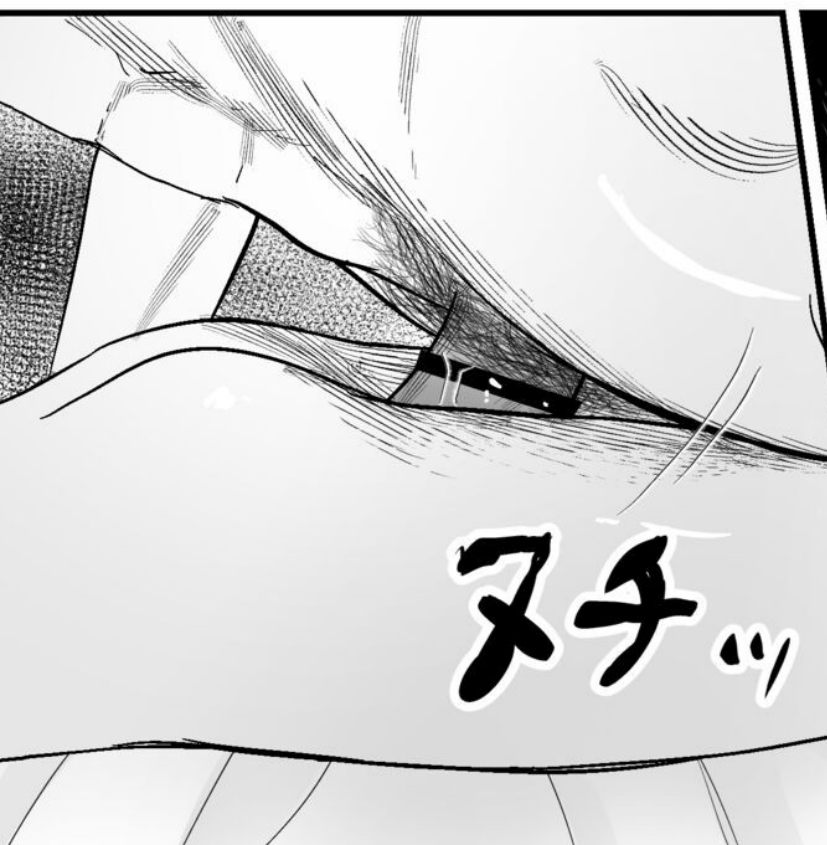
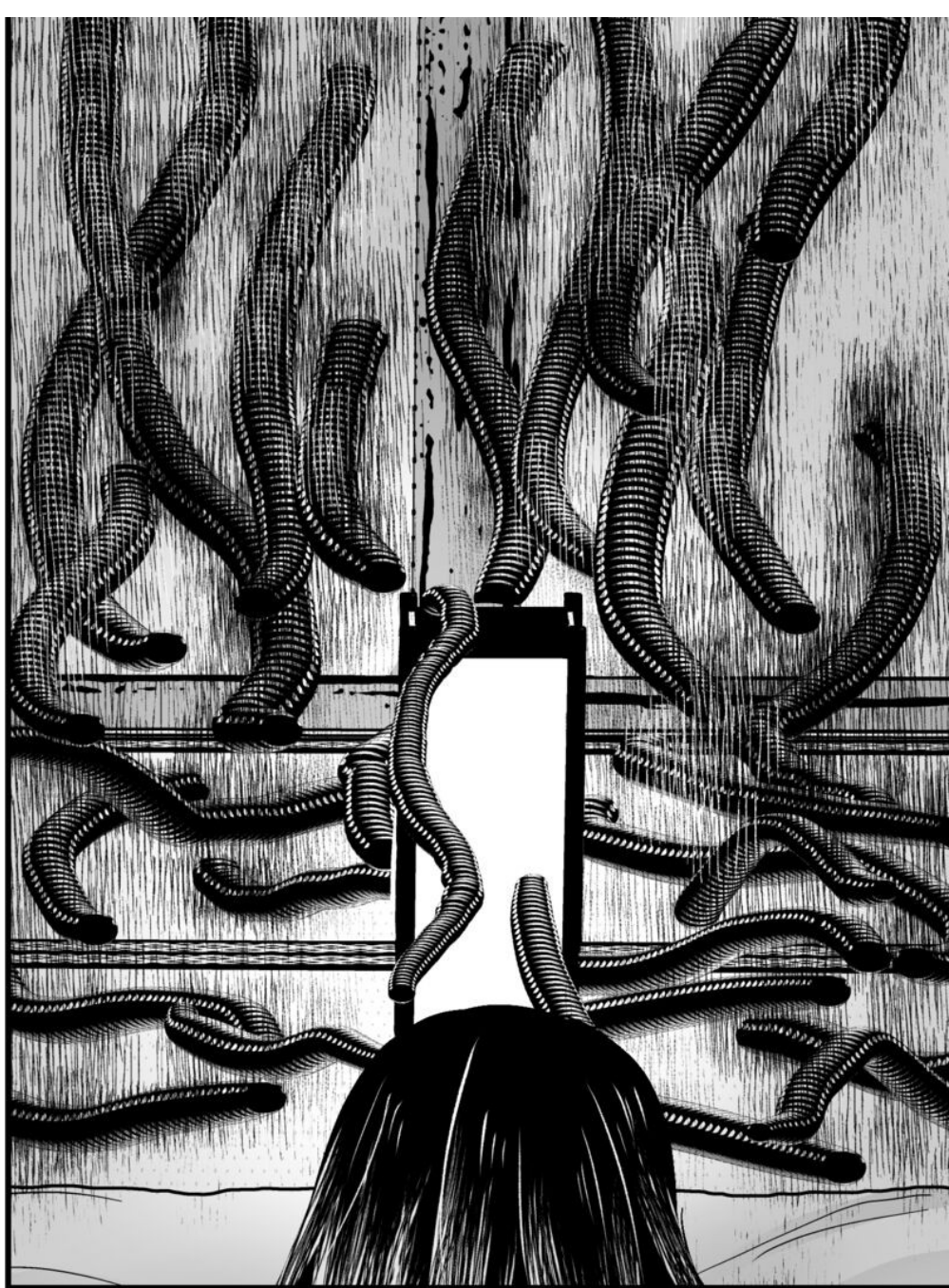
まひる、声を
 出して俺を求めろ

そうしたらもっと
 いい事をして
 やるから…！

ぬちゅっ♡

ヌキ

ヌルッ♡



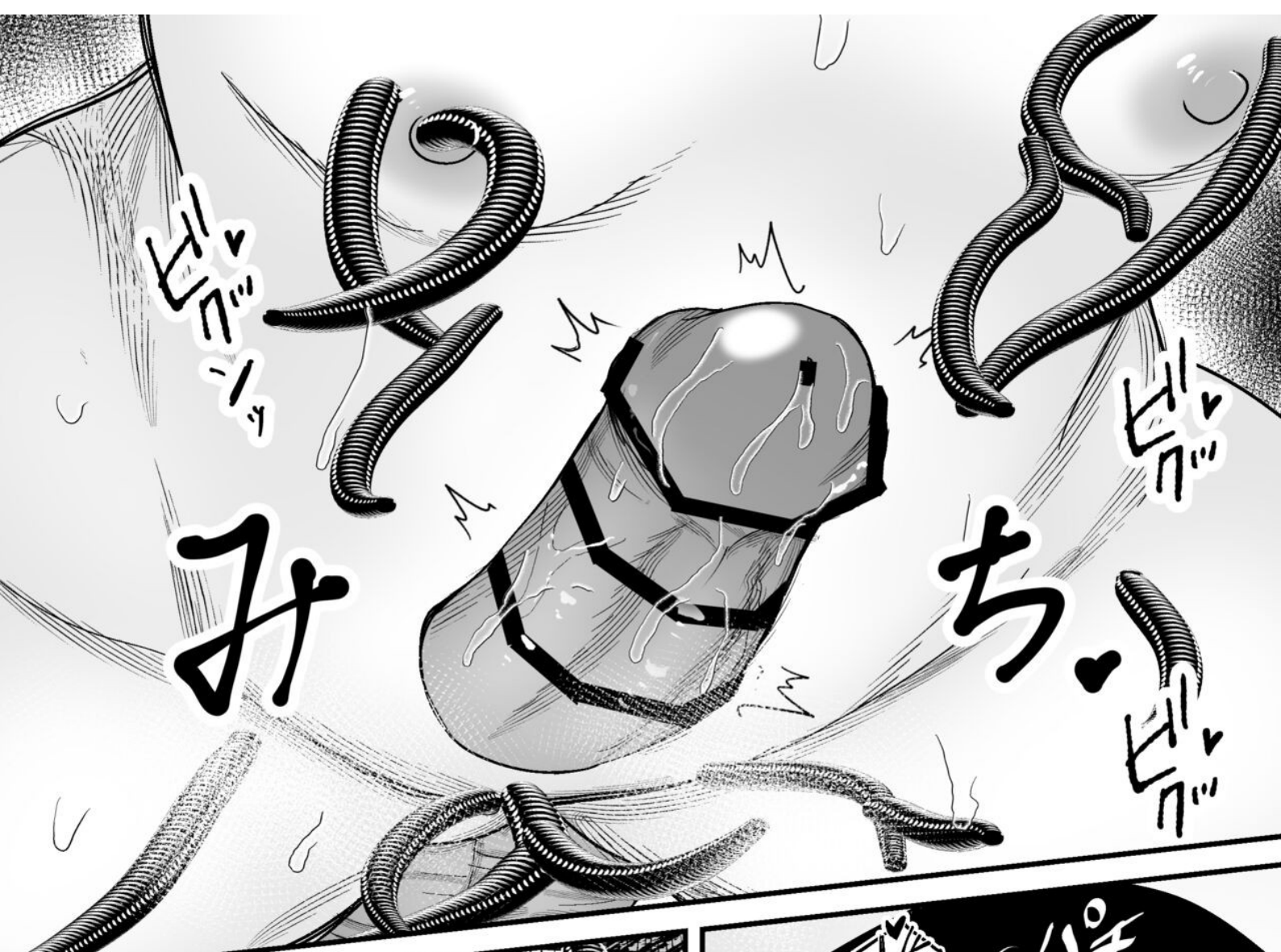


ガ
リ
ユ
ツ

ガ
ラ
ン
ガ
ラ
ン

あ
あ
あ

あ
あ
あ



まひる

やっと声が聴けた



はあ

はあ

あ

あ

ぱ

ぱ



ずっとこう
したかった

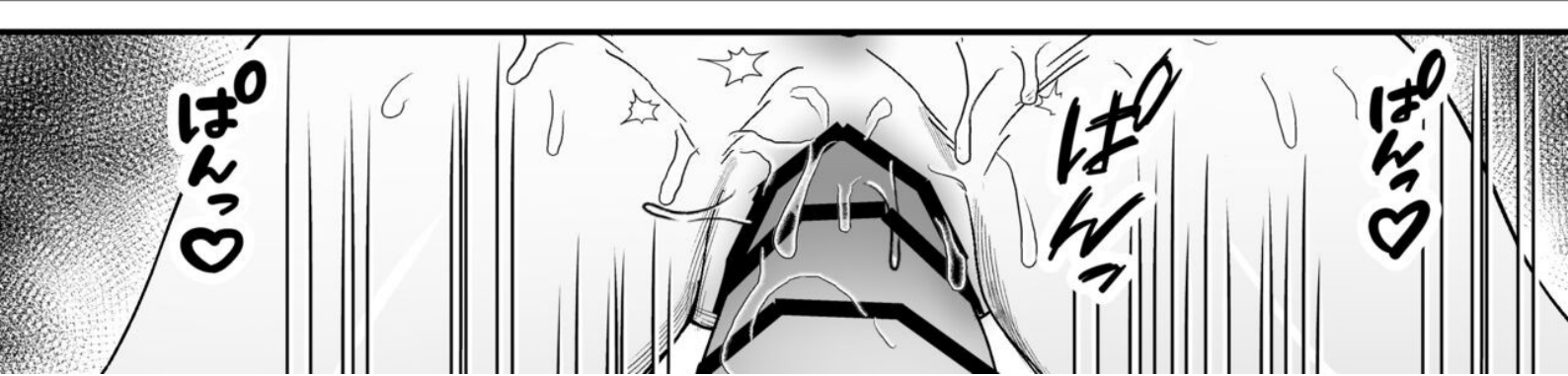
は—
…

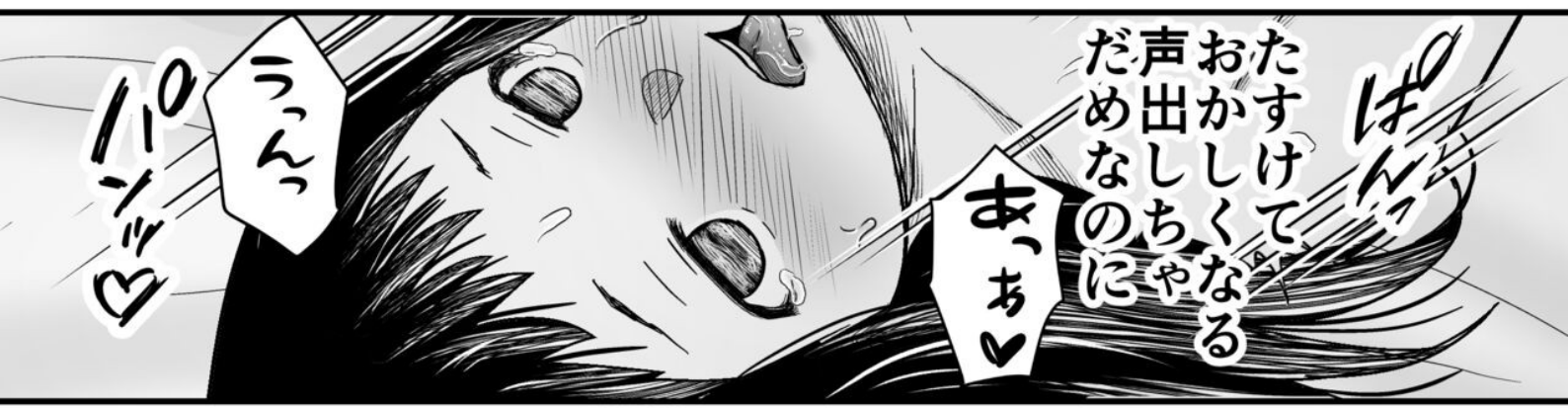
は—
…

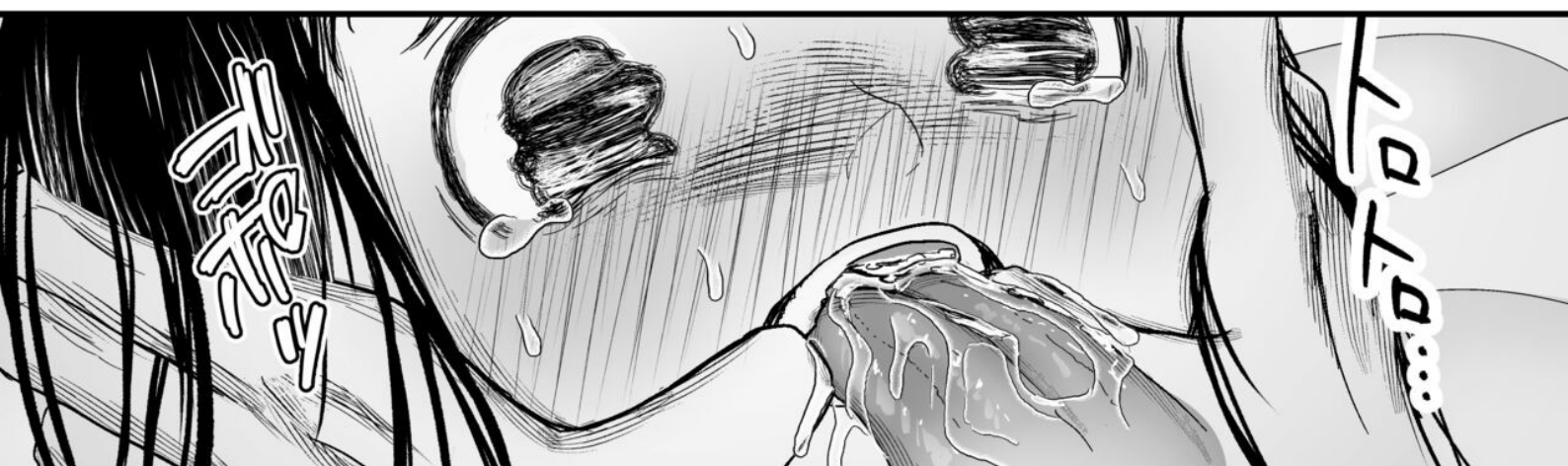
俺のだ

あ

あ









だいたいおかしいだろ。
俺にあれだけこんなにも
可愛がられてた癖に

はっ

はっ

はっ

喋らない程度で
縁が切れるなんて



はっ

ぎゅっ

はっ

馬鹿娘っ



このっ

はっ

はっ

はっ

あのまま俺に見つからなければっ、

おん おん おん おん

逃げきれたか
もしれんがっ…

おん

おん

だが、今は違う。
まひるがここに
居る…

俺のものをっ
美味そうに
受け入れてる

おん

おん

おん

おん



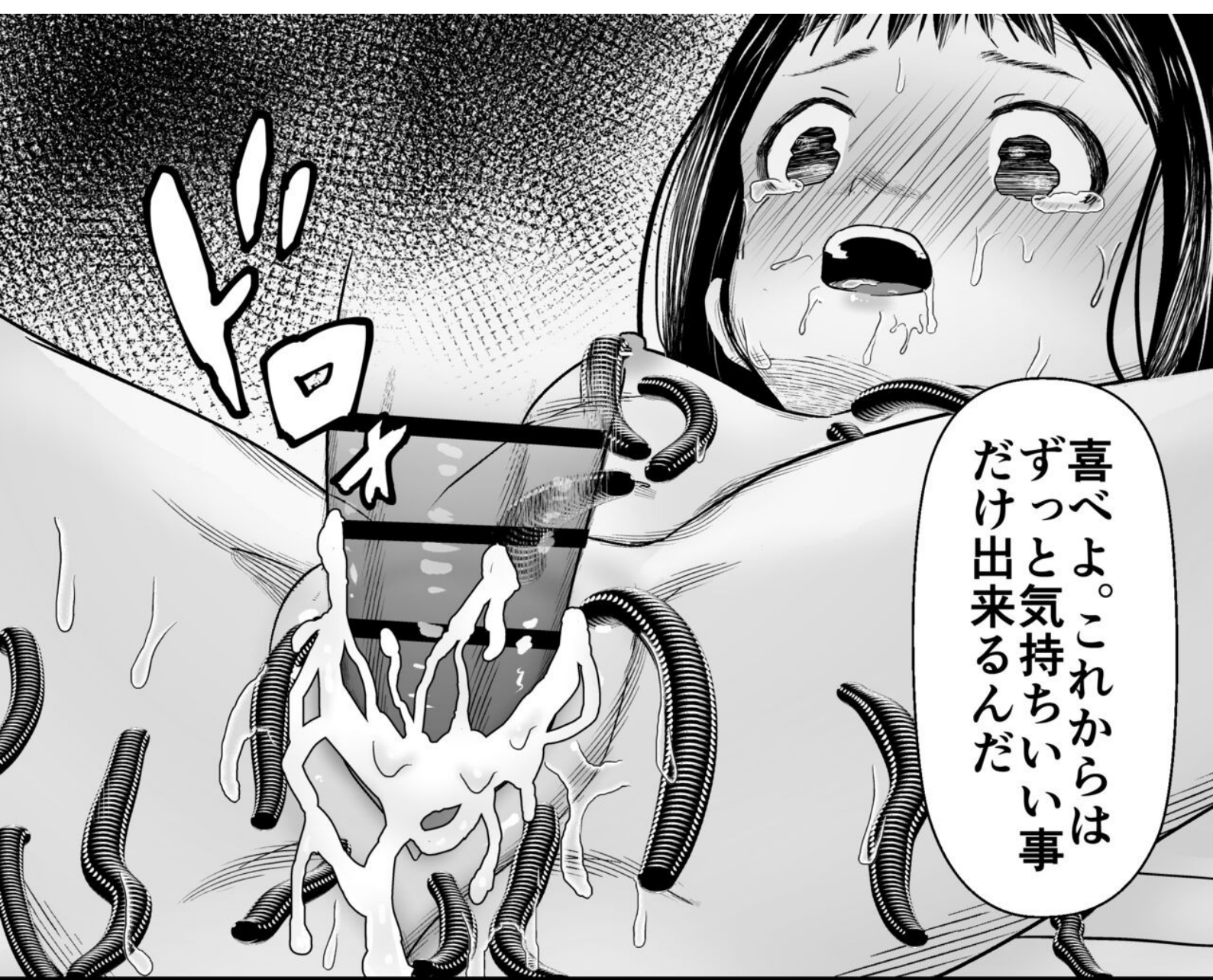
俺とこんな事したら
もう常世に帰れる
訳ないよなあ？



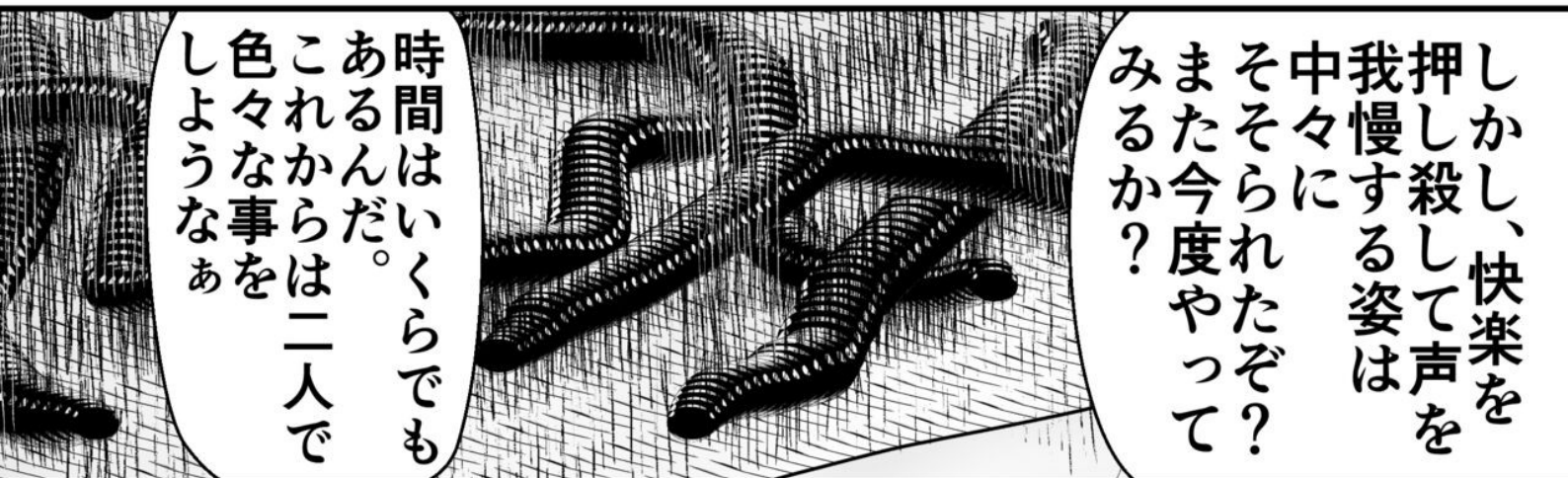
あ、あ、あ

やだ

ドムム

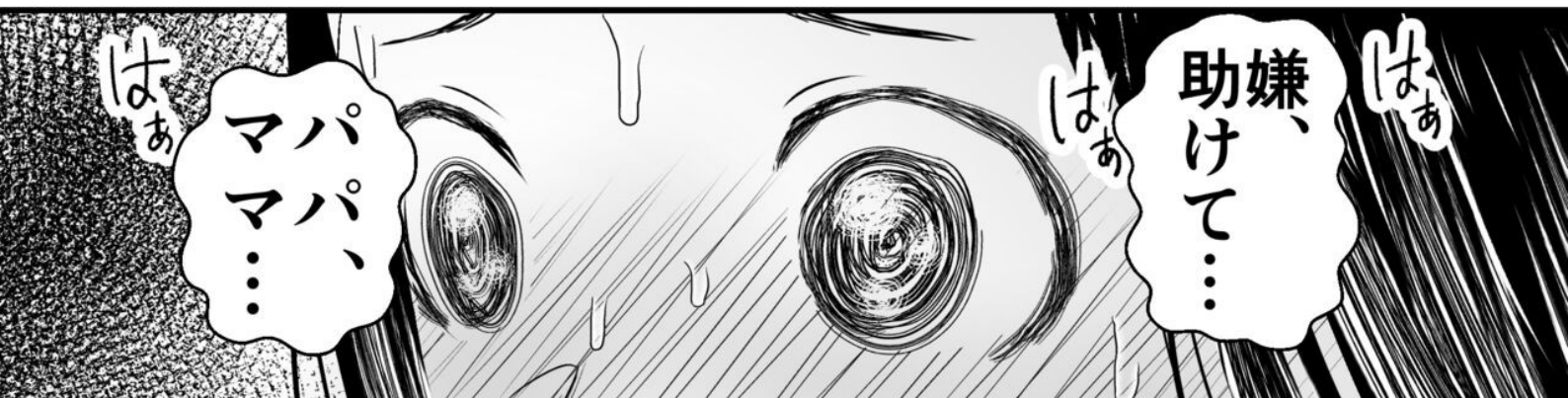


喜べよ。これからは
ずっと気持ちいい事
だけ出来るんだ



時間はいくらでも
あるんだ。
これからは二人で
色々な事を
しようなあ

しかし、快楽を
押し殺して声を
我慢する姿は
中々に
そそられたぞ？
また今度やって
みるか？



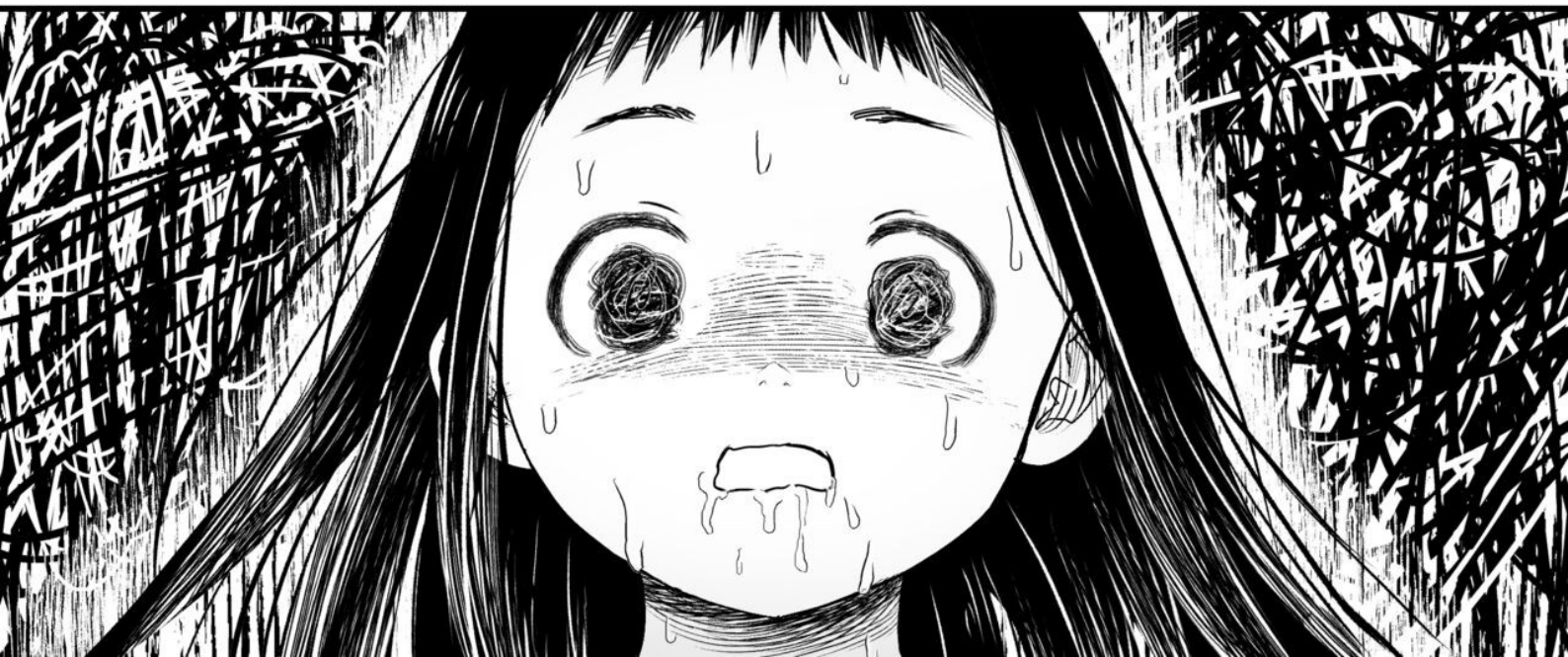
はあ
ママ
ママ
……

はあ
嫌、
助けて……
はあ



助けなんて来ないさ。

お前はここで永遠に
俺と居るんだ。



いやああああ!!

こんなところ
居たくない!!

ははは、気が合うな!
だがそう悲観
しなくてもいい♡

これからお前の
世話は全て余す
ことなく俺が
してやるからな♡

いやあああ！
もう触らないでえ！

いや！嫌！
いやあ！
あっちゃへ！
行ってえ！

まともに喋ったと思ったら
随分と酷い言い草じゃないか

この淫乱

とつくに気付いて
るんだらう？

あの姿隠しの
呪いが効く前
まひるの血を
吸ってからは
全部見てやった

お前俺のこと
呼びながら
耽ってただろ

あんなもの見せられて
どうしてこつちが冷静
でいなきゃならいんだよ

なあ、一年以上も
俺を無視して
楽しかったか？

煽るのも大概に
しとけよ
阿婆擦れが：

お前





仕置きが
必要か…

しゅるる

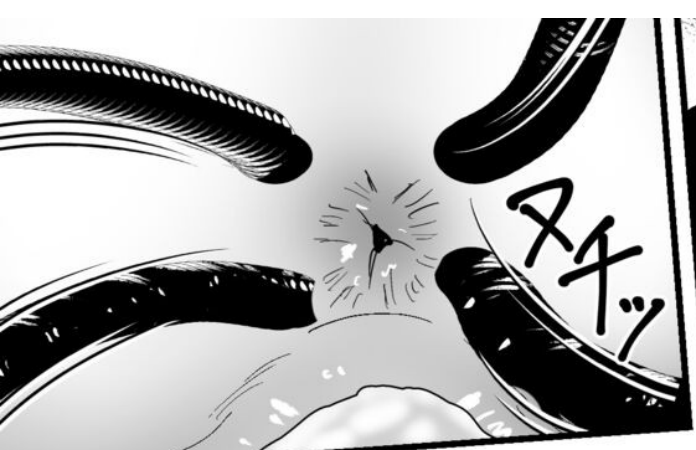
ぬるる



ああ、こうすると締めまりが
更に良くなる！
まひるっ、まひるっ
もう全部俺のだっ…！！

あああ

ズルル



ヌツツ



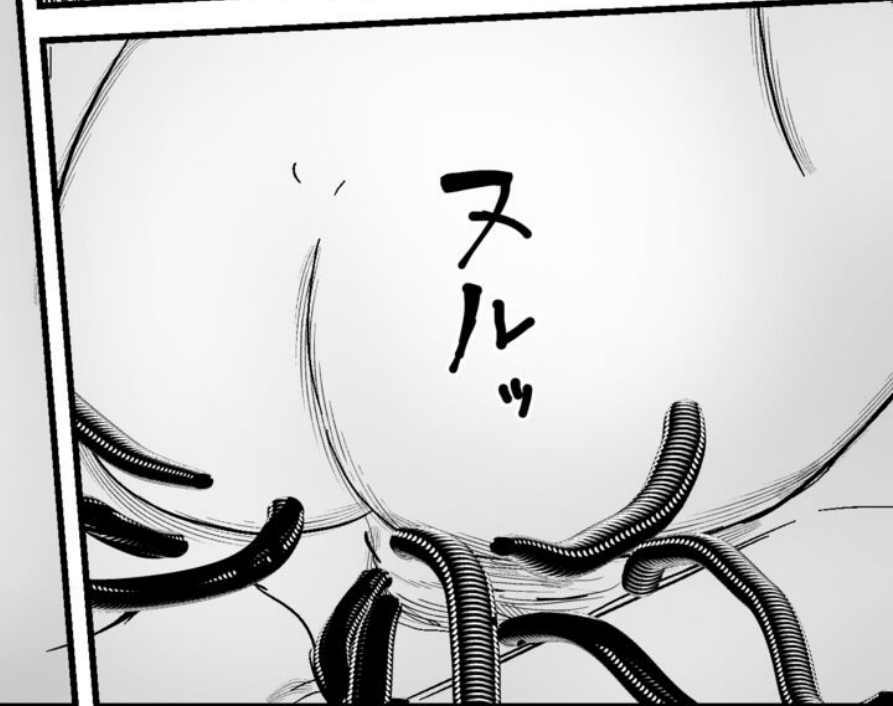
お
あ
ッ

お
ッ

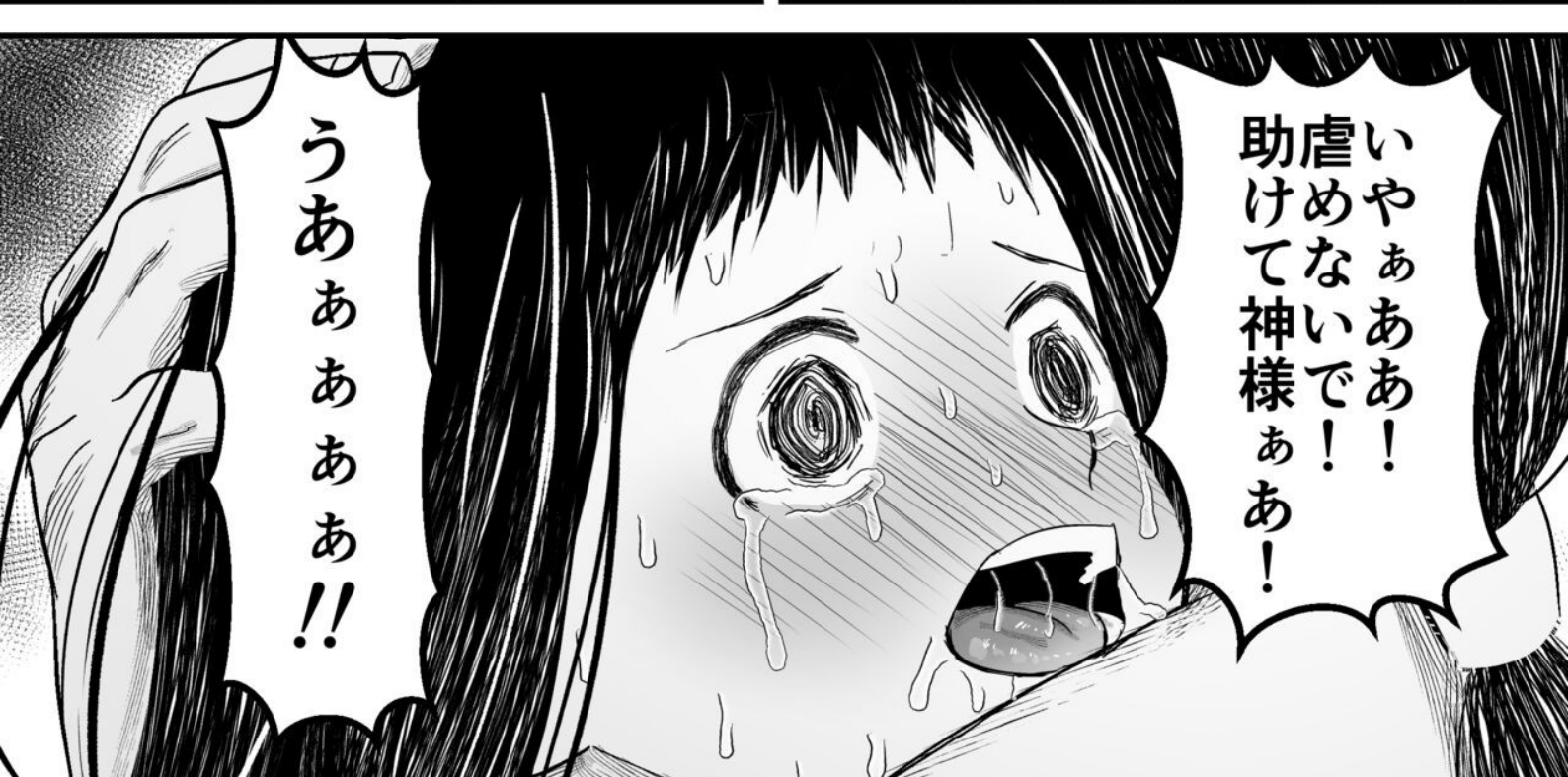
ツ
ク
ツ
ク
ツ
ク
ツ
ク
ツ



ぬ
る
〜



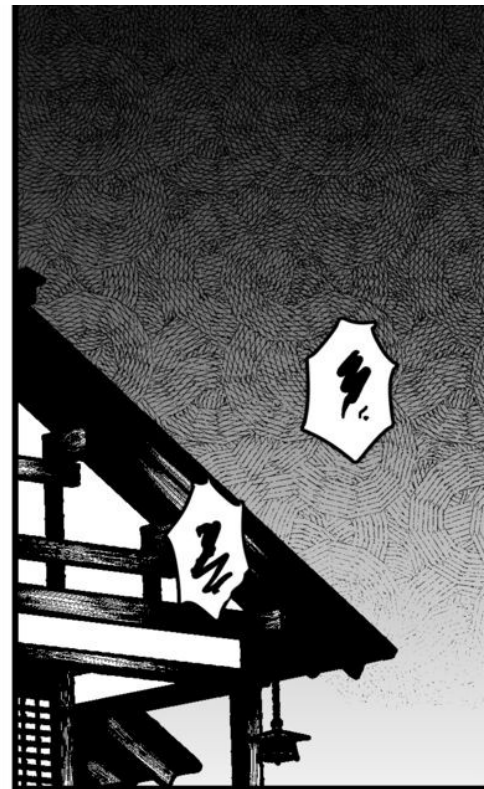
ヌ
ル
ッ



う
あ
あ
あ
あ
!!

いやあ
あああ
! !
虐めない
で!
助けて
神様
ああ!
!





いくときは
しっかり声に
出すんだぞ

くくく、上手に
なったじゃないか

ぐちゅ♡

ググ♡

イグ♡

ぐちゅ♡

ぐちゅ♡

ぐちゅ♡

ぐちゅ♡

ここでは恥ずかしい事
なんて何もないんだ

ガチュッ♡

はぁ

はぁ

もうイきたくない、
お願い早く醒めて……!

カク

カチュッ

カク

カチュッ

ガチュッ♡

♡♡♡



あの小娘、今までの
奴らと違って
擬態が効いている

こちらが見えてる癖に、
本質を見ちやいない

ふん、半端者め

今日は無事に
生き残れたが、
明日はどうかかな？





亡霊共が彷徨う森に
戻りたくないから
とはいえ、必死だな



供物か。心なしか
存在が濃く
なったようだが

これを食べるのは
何百年ぶりだ？



いつそ
あの娘に

信仰でも
して貰えば



何を今更
馬鹿な事を



神様っ

あとがき

本作を購入してくださりありがとうございます。
無様ヤンデレとおにロリを同時撮取したいという欲で
描いた作品でしたがいかがでしたでしょうか？
作品を描くにあたっていろんな物から影響を受けて
おりまして、代表的な物としては
「近畿地方のある場所について」「笑う標的」
「けろけろけろっぴのぼくらのお姫さま」
「ef -a tale of memories(7話の留守電シーン)」
などがあります。他にも色々ありますが、どの作品も
非常に素晴らしいです。
最後に、レビュー等頂けますと次作品に出てくる
ヤンデレ男の糧になります。

レビューして頂ける場合は
作品ページ下までスクロール
お願いしますm(_ _)m→

この作品のおすすめレビューを投稿しよう！

レビューを投稿する

レビューをもっと見る >>

マシュマロになります→



サークル:此花マカロン
作者:白飴ネリネ
X(黒酢名義):kurozu96

画像の無断転載、複製、複写、違法アップロード等は禁止になります。

山怪(神様)

不具の男が妖に転じたモノ。人の姿を失ってからは、若く健康そうな男の皮を剥いで中身を食ったり、その他様々な悪逆を働きながら生きてきた。しかしそれにも飽き始め、虚しくなってきた頃に封印される。まひるの体液と共に様々な感情を得ながら生き存える事になる。結界の中に居た見目のいい霊媒師の顔右半分を誤って損壊させてしまい、その皮を被った事で右半分だけ変化が解けやすい。人から好意を向けられる事に慣れていない。

まひる

亡霊達の子孫。名前に蛭、又はそれを連想する要素があり、尚且つこの世のものでないモノを見る目がある人物が、結界の中に導かれる傾向がある。

亡霊

結界を張り山怪を調伏しようとするも返り討ちにされる。結界の中で死んだ為、輪廻の輪にも戻れず彷徨うことになる。今は正気ではない。彼らの存在が縁となり外から人間を呼び込んで居る。